

銚子市行財政改革審議会
第 2 次 答 申

平成 2 6 年 1 月
銚子市行財政改革審議会

第2次答申にあたって

銚子市行財政改革審議会は、平成25年10月2日に銚子市長より次の諮問事項を受けた。

- (1) 平成25年度決算及び平成26年度予算へ向けて、本市が取り組むべき財政再建及びそのための行財政改革の方針及び具体的な方策について
- (2) 前号の手段として本年度に実施する「事業仕分け」の実施方法及び結果の取り扱いについて

本審議会は、これまで6回にわたる会議の中で慎重かつ活発な議論を行った。特に、平成25年度の赤字決算回避が喫緊の課題であり、直ちに具体策に取り組む必要があったことから、10月2日に開催した第1回の会議において、第1次答申を市長に提出した。同答申を受けた市の取組み等により、赤字見込額は縮減したが、未だ予断を許さない状況にあり、市の取組みの進捗状況を注視しているところである。

また、(2)の事業仕分けについては、事業仕分けの対象項目を審議会で決定し、無作為抽出による市民判定人方式により12月21日から23日までの3日間にわたり実施したところである。無作為抽出の市民の意見を聴く手法を、これほど大規模に取り入れたことは銚子市では初めてのことである。市民判定人の大半が市の財政状況に強い危機感を持っていることが、判定結果や仕分け実施時の意見表明、評価作業シートに記載された意見などから明らかとなった。事業仕分けによって、その意識が市民全体に共有されたことは、銚子市の再生にとって大きな力になると考える。

一方、市職員から危機感が伝わってこないことは、これまでの審議会の中でも再三にわたり指摘してきたところである。こうした、職員の危機意識について、この事業仕分けを通じて改革が図られることを期待する。

平成26年1月14日

銚子市行財政改革審議会

会長 伊永隆史

1 市財政の現状と課題

(1) 市財政の現状

本市の平成25年度の収支見込みは、当初予算に計上している市有地の売却に目途が立っていないことに加え、財政調整基金が底を突く見込みであることなどから、赤字決算となる可能性があり、平成26年度の収支見込みは、決算剰余による財政調整基金への積立てや繰越金が多くを見込めないため、一般財源の確保はこれまで以上に困難となる見込みである。

また、歳出では、病院事業会計に対する補助金等の支出が、一般会計の収支に大きく影響している状況であり、さらには、公債費の増加や高齢化の進展等に伴う社会保障関係経費の増加が見込まれ、極めて厳しい財政状況が続くことが予測される。

加えて、平成26年度の消費税率の引上げに伴い、地方消費税交付金の大幅な増収が見込まれる一方で、基準財政収入額の増に伴う地方交付税の減額、歳出では、特に物件費、普通建設事業費の増加が見込まれるなど、予算の歳入歳出全般にわたって、大きな影響が生じる見込みである。

(2) 市財政の課題

本市の人口は今後も減少が続くと見込まれる。生産年齢人口は減少し、老年人口は当分の間、逆に増加し続ける。総人口の減少は、地方交付税の減少をもたらし、生産年齢人口の減少は、市税収入をはじめとする歳入の減少に直結し、老年人口の増加による社会保障関係経費の増加基調は今後も続くことが見込まれる。さらに本市の公共施設は昭和40年代に建設されたものが多く、多額の維持補修費を要している状況にあることから、歳出の構造改革は待ったなしの状況である。また、依存財源の割合が多い本市にあっては、地方交付税制度などの制度改正にも大きく影響を受けるなど、歳入面で多くの不安要素を抱えている。

このような状況にあるにもかかわらず、市全体を見渡した体系的かつ実現可能な計画が策定されていない。中長期的なビジョンを持って、特色ある施策の実施により人口減少の抑制を図ることや、産業振興をはじめとする経済活性化策を通じて自主財源を増やすことも併せて講じる行財政改革が不可欠である。

2 平成25年度赤字決算回避に向けた方策について

(1) これまでの取組み

本年度決算は、第1回審議会が開催された平成25年10月の時点で約6億2,600万円の赤字が見込まれたが、本審議会の第1次答申を受け、予算の一部を執行留保したことなどにより、現時点では約3億7,000万円の赤字が見込まれている。

このため、市は次の取組みを行っている。

① 遊休市有地の売払いの推進

長崎町（旧国民宿舎跡地）、潮見町（マリーナ後背地）をはじめとする遊休市有地について売却の事務を進めている。

② 未収金対策の推進

市税については、平成25年12月から平成26年3月までを徴収強化月間と定め、管理職による徴収と税務課による滞納処分に向けた財産調査の強化に取り組んでいる。

③ 市立病院の経営健全化

市は銚子市立病院施設の指定管理者に対し、経営効率化を求めるなどの適切な対応を通じて管理監督責任を果たしてきたとはいえない。そのため、病院経営の専門家を参与、行政アドバイザーに任命するとともに、今後発足予定の「銚子市立病院の方向性を検討する委員会」により、経営健全化に向けた取組みを行うこととしている。

(2) 今後の方策

平成25年度決算が赤字に陥った場合は、翌年度の歳入を繰り上げて充用することになるため、平成26年度の財政運営に著しい支障を来たすこととなり、さらには、これが累積されていくと、近い将来、財政健全化団体、財政再生団体に転落してしまう危険がある。

このため、次の方策をはじめとして、考え得るあらゆる方策を講じることにより、平成25年度の赤字決算を回避すること。

- ① 厳しい財政状況にもかかわらず、多額の未収金が存在することは、公平性の観点からも非常に問題が大きいことから、これまでの取組みをさらに強化すること。特に、市民税、固定資産税、都市計画税などの市税と国民健康保険料は平成24年度でともに10億円を超える非常に多額の未収金（滞納率は市税で約14%、国保料で約35%）が存在することから、徹底的に徴収を行うこと。
- ② 特定目的基金は、特定の目的を計画的に実施できるよう資金を積み立てたものであるが、赤字決算への転落の危険がある現状においては、それらの活用も検討に入れるべきである。よって、特定目的基金の統廃合や弾力的な処分方法を含めた抜本的な検討を早急に行うこと。

3 平成26年度予算編成について

(1) 全体予算の縮減について

平成26年度予算編成では、前年度当初予算比で5%を目安に予算縮減を実施する。

(2) 事業仕分け結果の反映について

事業仕分けについては、その実施方法及び結果の取り扱いについて諮問を受けた。本市の厳しい財政状況を勘案すると、既存事業の取捨選択や思い切った改善をすることは避けては通れないことから、事業仕分けを実施したところである。また、これまで市政に対し直接、意見・提言をする機会がなかった市民にも参加いただき、多様な意見を反映させるため、無作為抽出による市民判定人方式の事業仕分けとした。

仕分けの対象事業は、当審議会では118事業に絞り込みを行い、その後、平成26年度は予算要求を行わないことが明らかとなった2事業を除く116事業について、コーディネーター・仕分け人、延べ54名、市民判定人、延べ198名が参加して仕分けを実施し、判定に至らなかった10事業を除く106事業について、別紙1のとおり結果となった。

平成26年度予算編成にあたっては、市民判定人による事業仕分けの結果を尊重して、次のとおり対応すること。

① 「不要・凍結」と判定された事業

指摘事項の趣旨に沿って事業の平成26年度廃止に向けた手続きを行うこと。(平成26年度に事業を廃止できない場合は、事業廃止に向けた工程表を作成するなどの抜本的見直しを進めること。)

② 「国・県・広域で実施」と判定された事業

速やかに関係方面に働きかけを行い、平成26年度中を目途に事業を国又は県に移管し若しくは広域での実施を進めること。

③ 「要改善」と判定された事業

指摘事項の趣旨に沿った改善が行われるまでは、各事業における当該部分の予算は計上しないこと。

④ 「現行どおり」と判定された事業

当初予算で措置すること。ただし、事務の見直しなどにより、可能な限り経費の削減を図ること。

なお、事業仕分けの結果を実効性あるものにするため、庁内での見直しを進め、当審議会としても引き続きフォローアップを行う。

(3) 市立病院への対応

市立病院への繰出経費は、平成23年度、24年度とも決算額は15億円を超え、旧市立総合病院を休止した平成20年度の約16億円に迫るもので、市財政を圧迫する最大の要因となっていることから、本審議会は、第5回の会議において、他の公立病院と比較を行いながらこの問題を集中的に議論した。その結果、人件費を含む諸経費について、改善の余地が多数あることが明らかとなった。また、本来の指定管理者制度のメリットが活かされていないことや、指定管理者に対する市の管理監督が不十分であることも指摘してきたところである。

市が銚子市立病院施設の管理運営に要する経費として、指定管理者に対しこのまま現在の水準の金額を負担し続けることは到底不可能である。

このため、指定管理者には現在の危機的な市の財政状況を認識させ、健全な経営と良質な医療の提供を両立させるように、市は次のとおり対応すること。

- ① 本審議会の議論を踏まえ、また指定管理者の事業計画を早期に提出させ、内容を十分精査したうえで予算措置すること。なお、その際、市が銚子市立病院施設の管理運営に要する経費として指定管理者に対して負担する経費の総額は、5億円を超えないよう努めること（平成25年度「年度協定書」において努力義務としている10億円の経費を5億円に減額）。
- ② 指定管理者に対して十分な管理監督を行い、市が拠出している公益的な法人として正確な情報を公開させるよう強力に指導するとともに、指定管理者制度本来のメリットを活かす方策についても検討を行うこと。
- ③ 今後実施される地区懇談会の中で市民の意見を十分聴取するとともに、2月から始まる「銚子市立病院の方向性を検討する委員会」においては、市立病院の必要性を含めたゼロベースからの議論を行い、その専門的判断を踏まえた見直しを行うこと。

(4) 人件費の減額

市民にも痛みを伴う各種事業の見直しを実施する以上、市の執行部及び市議会議員も痛みを共有せざるを得ない。

平成25年10月から26年3月まで、職員の人件費の引き下げを行っているところであるが、平成26年4月以降についても、同様の減額を続けること。なお、市議会議員については、報酬・賞与の15%の減額を実施すること。

(5) 予算執行にあたって

銚子市の発展と歳入拡大をめざす新たな施策を実施するため、平成26年度予算の執行にあたっては、従前どおり漫然と執行するのではなく、

常に事務事業の改善や見直しを行うことで、剰余金を可能な限り確保し、その上で、子育て支援や産業振興・雇用創出など施策の選択と集中を行うこと。

結びにあたって

これまで6回にわたって開催した当審議会によって、市の危機的状況が多く
の市民に共有された。その共有にあたっては、今回の事業仕分けにおける市民
判定人方式及びインターネット中継を行ったことは、大きな効果があったと言
える。同時に、銚子市民の多くが市財政の行方について心配し、真剣に考えて
いることも明らかとなった（別紙1の市民判定人意見及び別紙2参照）。

忘れてはならないのは、市が財政破たんした場合、一番被害を被るのは銚子
市民であるということを常に念頭に置くことである。市長をはじめとする市の
執行部及び市議会は、これまでの歴代市政運営の積み重ねが、現在の厳しい
状況を招いてしまったということを深く認識した上で、今後の施策実現につい
て議論し、本答申に記載した内容を、責任をもって確実に実行することを強く
要望する。

別紙 1

平成 2 5 年度 銚子市事業仕分け

判 定 結 果

	不要・凍結	国・県・広域	銚子市要改善	単位:事業		単位:人	
				銚子市現行通り	市民判定人数	傍聴人数	
21日(土)	10	0	22	0	64	95	
22日(日)	8	0	23	8	62	114	
23日(月・祝)	3	2	27	3	72	76	
計	21	2	72	11	198	285	
	106						

(参考)

事業仕分け結果106事業の予算額及び一般財源額

	不要・凍結	国・県・広域	銚子市要改善	単位:千円	
				銚子市現行通り	
平成25年度 予算額	614,650	11,894	1,327,156	288,185	
上のうち 一般財源	122,152	8,394	1,024,761	206,897	

平成25年12月21日(土) 事業仕分け結果

【第1会場】

事業番号	事業名	市民判定人・評価結果			
		(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
1-1-(1)	中小企業等金融対策(利子補給)事業	11	0	5	1
1-1-(2)	防災関係事業	2	1	14	0
1-1-(3)	みなとまつり関係事業	5	0	9	3
1-1-(4)	観光プロモーション事業	13	0	2	1
1-1-(5)	観光振興事業	15	0	1	1
1-1-(6)	商業振興事業	14	0	3	0

仕分け人・評価結果(参考)			
(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
5	0	0	0
4	0	1	0
4	0	1	0
5	0	0	0
5	0	0	0
5	0	0	0

【第2会場】

事業番号	事業名	市民判定人・評価結果			
		(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
1-2-(1)	支所・出張所(施設の検討)	4	0	19	1
1-2-(2)	体育協会助成事業	13	1	11	0
1-2-(3)	中学校駅伝大会助成事業	1	3	21	0
1-2-(4)	グループホーム等家賃補助関係事業	2	7	15	1
1-2-(5)	重度心身障害者福祉年金事業	12	7	6	1
1-2-(6)	青少年相談員関係事業	5	5	14	2

仕分け人・評価結果(参考)			
(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
4	0	1	0
3	0	2	0
0	0	5	0
0	3	2	0
4	0	0	1
1	0	4	0

【第3会場】

事業番号	事業名	市民判定人・評価結果			
		(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
1-3-(1)	障害者(児)支援事業	0	0	17	3
1-3-(2)	移動支援・福祉タクシー事業	0	0	21	0
1-3-(3)	心身障害者医療費給付・難病者援護金支給事業	0	0	19	2
1-3-(4)	水産業担い手確保事業費補助事業	5	3	13	0
1-3-(5)	農業人材育成確保支援事業	11	0	10	0
1-3-(6)	土地改良施設整備事業	0	2	11	8

仕分け人・評価結果(参考)			
(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
0	0	5	0
0	0	5	0
0	0	5	0
5	0	0	0
5	0	0	0
0	0	5	0

○1-1-(4) 観光プロモーション事業:4事業のうち、観光プロデューサー促進事業経費のみの1事業を評価

○1-1-(5) 観光振興事業:4事業のうち、観光コンベンション誘致促進経費のみの1事業を評価

○1-1-(6) 商業振興事業:3事業のうち、プレミアム付き地域商品券発行経費のみの1事業を評価

平成25年12月22日(日) 事業仕分け結果

【第1会場】

事業番号	事業名	市民判定人・評価結果			
		(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
2-1-(1)	行政情報システム関係事業	0	0	18	1
2-1-(2)	婚活支援事業補助事業	12	0	6	1
2-1-(3)	市民相談・消費生活相談事業	0	0	18	1
2-1-(4)	バス路線運行維持費補助事業	2	0	16	0
2-1-(5)	広報紙発行・ホームページ運用管理事業	1	0	14	3
2-1-(6)	銚子学基金積立金	9	0	8	1

仕分け人・評価結果(参考)			
(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
2	0	3	0
5	0	0	0
1	0	4	0
3	0	2	0
2	0	3	1
5	0	0	0

【第2会場】

事業番号	事業名	市民判定人・評価結果			
		(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
2-2-(1)	社会福祉協議会補助事業	6	0	17	0
2-2-(2)	保育所(施設の検討)	15	0	8	0
2-2-(3)	幼稚園(施設の検討)	16	0	7	0
2-2-(4)	母子自立支援・DV相談事業	0	3	19	1
2-2-(5)	小・中学校パソコン設置・管理事業	0	3	20	0
2-2-(6)	小・中学校管理運営事業	0	3	20	0

仕分け人・評価結果(参考)			
(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
0	0	5	0
5	0	0	0
5	0	0	0
0	0	5	0
0	1	4	0
0	0	5	0

【第3会場】

事業番号	事業名	市民判定人・評価結果			
		(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
2-3-(1)	小・中学校外国語指導関係事業	2	5	8	5
2-3-(2)	常備消防関係事業	0	5	6	9
2-3-(3)	消防団関係事業	0	0	9	11
2-3-(4)	職員研修・福利厚生事業	5	0	15	0
2-3-(5)	町内囃子員事業	8	0	10	2
2-3-(6)	町内外灯維持管理事業	1	0	15	4

仕分け人・評価結果(参考)			
(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
1	1	3	0
0	5	0	0
0	0	4	1
2	0	3	0
4	0	1	0
0	0	5	0

平成25年12月23日(月・祝) 事業仕分け結果

【第1会場】

事業番号	事業名	市民判定人・評価結果			
		(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
3-1-(1)	漁港等清掃美化事業	0	16	8	0
3-1-(2)	廻船誘致対策事業	5	0	18	1
3-1-(3)	漁業乗組員共済樹金助成事業	14	0	10	0
3-1-(4)	夜間小児急病診療所関係事業	不要3 凍結6	0	14	0
3-1-(5)	各種健康診査・検診事業	1	0	20	2
3-1-(6)	各種予防接種助成事業	0	1	9	13

仕分け人・評価結果(参考)			
(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
0	4	1	0
2	0	3	0
4	0	1	0
不要0 凍結4	0	1	0
0	0	5	0
0	1	3	1

【第2会場】

事業番号	事業名	市民判定人・評価結果			
		(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
3-2-(1)	住宅耐震化等対策、被災住宅再建利子補給事業	1	3	19	1
3-2-(2)	公園管理事業	0	1	22	1
3-2-(3)	都市公園安全安心対策緊急総合整備事業(防災・安全交付金事業)	8	0	16	0
3-2-(4)	ごみ収集事業	1	2	21	0
3-2-(5)	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業	10	12	0	2
3-2-(6)	公衆便所管理事業	1	0	22	1

仕分け人・評価結果(参考)			
(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
0	0	5	0
1	0	4	0
4	0	1	0
0	0	5	0
5	0	0	0
3	0	2	0

【第3会場】

事業番号	事業名	市民判定人・評価結果			
		(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
3-3-(1)	不法投棄等対策関係事業	6	3	15	0
3-3-(2)	市民環境活動推進事業	9	1	14	0
3-3-(3)	犬、猫等死体収集事業	3	0	20	1
3-3-(4)	高齢者介護等支援事業	8	0	15	0
3-3-(5)	長寿祝金支給事業	21	0	1	1
3-3-(6)	シルバー人材センター補助事業	12	0	11	0

仕分け人・評価結果(参考)			
(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 銚子市 (要改善)	(4) 銚子市 (現行通り)
1	0	4	0
5	0	0	0
5	0	0	0
4	0	1	0
5	0	0	0
5	0	0	0

○3-1-(4) 夜間小児急病診療所関係事業:不要、凍結の取扱いについては、不要は「銚子市がやらなくてもよい」、凍結は「銚子市が行うが、抜本的見直しが必要」、銚子市要改善は「市立病院への委託も視野に入れ改善すべき」としている。

○3-2-(1) 住宅耐震化等対策、被災住宅再建利子補給事業:3事業のうち、住宅・建築物等の耐震化促進経費のみの1事業を評価

21日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント
1-1-1	観光商工課 水産課 農産課	中小企業等金融対策 (利子補給)事業	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業金融対策経費 ○水産業金融対策経費 ○農業経営基盤強化資金利子補給経費 ○農業金融対策経費 	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預託融資制度であるにもかかわらず金融機関の貸出金利が低くなく、利子補給の率も根拠がない。預託金額も融資可能残高があるため、使わない預託金を一般財源として使用可能。利子補給を受けている中小企業の割合、そのうち当該制度を利用している中小企業の割合も把握していない。事業の目的、目標についても真剣に見直すべきである。 ・目標設定から事業を抜本的に見直し、国、県の事業との関係も含め、必要性をゼロベースで見直すべき。利子補給の必要性はあるにせよ、本事業の一部の改善では足りない。銀行にとって融資は本来業務であることを前提に制度を構築すべき。 ・中小企業が、この融資以外にどこから借りていて、この融資の割合がどのくらいかわからない。中小企業の倒産数も把握していないという状況では、この事業が本当に中小企業のためになっているのかわからない。この制度の廃止も含めた検討が必要。 ・金融機関と交渉し、金利の低い制度、融資制度にすべき。金融機関が同意しない場合には、預託をやめて、必要な中小企業者への支援を別の制度で考えることも必要。 ・預託金のあり方と運用、制度や事業そのものの再構築、金利の見直し等。 ・目標と根拠に乏しい制度をそのまま維持する必要はない。今のままでは金融機関支援とられても仕方がない。そもそも制度融資すべきか、利子補給の水準が適当か、根本的に考え直すべき。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業と同様に国の事業で行われるべき。制度見直し。市のメリットが見えない。 ・事業内容の分析がまったくされていないと感じた。抜本的に見直しが必要。市で実施する必要があるかも疑問だが、市で実施する必要性についての説明が不十分であるので、そこまでの判定ができなかった。 ・貸付金利または利子補給の変更・見直しの徹底。農業・水産業に関しては、震災関係なら広域対応。対象の業績把握(金を出すが口も出す)。 ・予算の数値の根拠、実在の企業の数がかたくなに出てこないのはおかしい。この事業自体はいいことだと思うが、今までの流れのままでも何も考えられないで予算を組まれているような気がする。 ・1件当たりの補助額が少なく、事業目的となっているとは思えない。目的達成には「融資が受けやすい制度」の方が重要と思慮する。現下の金融情勢(低金利、金融機関の運用難)で利子補給の必要性と事業継続の場合でも預託金が必要かも含めた検討が必要と考える。 ・利子補給事業でどれだけ効果があるのか、目標値の根拠が不明。この事業のメリット、対象者がどれだけ助けられているのか不明瞭。貸付事業のメリットが金融機関にしかないのならば、この事業の意味が違う。

21日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント
1-1-(2)	危機管理室	防災関係事業	<ul style="list-style-type: none"> ○その他防災関係経費 ○防災メール配信経費 	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市地域防災計画の改正については抜本的に見直していただきたい。最終的な目標値、それをいつまでにどのように達成するのかについて毎年の年度目標を設定し、さらに進捗状況を把握したうえで市民に公表すべき。他市町の対策ももっと調査分析し、常に計画、実施方法の見直しを図っていただきたい。 ・防災の重要性を前提に、長期的な計画を立案し、計画に基づいた事業とすべき。全体的に事業がずさんな印象がある。抜本的に姿勢を見直す必要があるのではないか。 ・危機管理室の危機感が低い。意識啓発への取組み、備蓄や機器の整備計画、その達成に向けたロードマップ全てが甘い。仕事のやり方をゼロベースで見直し。 ・防災の取組みをもっと現実的に捉え、防災対策のあり方を根本的に見直す必要がある。今後の計画策定に向けて考慮してください。 ・防災に対する考え方を根本から変えるべき。短期、長期計画を策定する中で、ソフト、ハードに関する財源を含め検討すべきである。 ・「目先でできることをやっている」という印象。計画的でなく、ロードマップもない。「いつ、どの水準まで」やるのか、計画に位置付けて毎年事業に反映させるべきもの。これがまったくできていないのではないか。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品は、ただ替えるだけでなく、イベント等で販売などをして少しでも次の購入費に充てれば良いと思う。啓発にもなるし。国民全体の問題なので国のサポート役として予算・しくみを改善すべき。市だけではカバーしきれないと思う。 ・5年、10年先の数値目標作成。備蓄品の数値目標を立てる(何年分の備蓄品があるのか)。全市民が進んで参加できるような啓発運動をすること。 ・点検・設備も大事ですが、災害が起こりえる危険場所の日ごろの下見(川・山等)が必要だと思います。例えば、雑草・がれきによる氾濫を防ぐための清掃等、財源を一部使用してもよろしいではないでしょうか。今は何かと予算がないと断れる現状。 ・災害援助基金の規模(積立額)を具体的に示してほしい。「地域防災計画」の内容に不安を感じた。「水」の確保についてもきちんと示すことができない。もっと市民に相談して一緒に考えるという姿勢があってもいいと思います。市民の意識を行政側が捉えていないと思いました。 ・明確なインフラ計画を立ててほしい。またそれを継続させるためのシステム構築が必要ではないか。25年前に設置した給水タンクを放置したまま2基を撤去されたのに気がつかないなど、危機管理には程遠い状況に驚いた。 ・町内会やボランティア及び消防団と、より連携してほしい。 ・事業費用の割に人件費、コストが高い。 ・大変重要で継続的な事業であるので、目的を意識して詳細に内容を再検討してもらいたい。

21日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント
1-1-3	観光商工課	みなとまつり関係事業	○みなとまつり関係経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まつりの独自収入の確保増のための努力や工夫が足りない。逆に言うと、市の負担金のおかげで現状まかなえているため、努力・工夫する意欲が乏しいとも言える。市の負担金を下げるためだけではなく、まつりの主体を市民に返すためにも、負担金の規模を小さくするとともに、まつりのやり方を考えてほしい。 ・行政による負担金が1100万円あることによって、銚子みなとまつり実行委員会の運営や市民のまつり参加への姿勢に悪影響を与えていると思われる。負担金の一旦廃止(5年後の廃止を宣言し、段階的に支出を減少させる)等によって市民に明確なメッセージを出していくべきではないか。 ・今回の議論では、1100万円を単純に出しているようにしか見えなかった。まつりの効果、市民の関わり、市民のお金の負担など現状を全く把握できていなかった。事務体制から見直すべき。 ・支出内容の確認をし、市が負担すべき額を見極めることが必要。経済効果の把握も。市民とともによりよい「まつり」となるよう市民の参加意識を高めていくことが大切。 ・収入、支出の見直し、運営手法の見直し、段階的補助金の廃止、若い世代の活用(学生等)。 ・負担金ありきのまつりになっているのではないか。市民主体のまつりへの転換。自主財源(寄付・協賛)の拡充、ボランティアの参加など、やるべきことは多い。実行委員会の組織と責任の見直し、支出構造の改善、補助金への転換をすぐにでも。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会の主催であれば、市としては負担金ではなく寄付金として納めればよいと思います(100万円くらい)。人件費の必要もないのではないかと。判定人の意見に賛成(内容の見直し)。市の働きではなく実行委員会がもっと働いた方がよいのでは。 ・民間主体(花火打上げ等、市、負担1100万円は支出しないこと)で実施する。実行委員会で全面的に寄付を集め、まつりを実施すること。 ・経済効果が不明では予算としておかしいと思う。採算が取れないなら思い切ってやめても良いと思う。市の一大イベントなのに中心地域が狭い気がする(西部地区には直接関係ない)。まつり全体を見直す。 ・役所、市民の一体感がない。場所を変える。受益者の寄付を募る。ボランティアを募る。なぜ、他の町を例に説明するのか。自分の町の経済力で。お金がないので、市民は町を考えて、市がお金を出すまつりは無意味。 ・風評被害や人口減少等がある中で、例年同じプログラムでやり続けていて、「今年はどうなのかな」という期待感も持てない。関係団体と相談して経費を含めやり方を変えられないのか。旭市いいおかのまつりの方が活気があるように思える。公費を投じているのだから、お金を出して口を出さないはやめてほしい。実行組織に算入するべきだと思う。 ・観光客を増やすため、みなとまつり(商工会議所)、よさこい祭り(青年会議所)及びきんめだい祭り(漁業協同組合)、農業まつり等、銚子市のまつりをまとめて、銚子夏祭りとかで一週間位長く行うとか。 ・少子高齢化が進み、町内会の夏祭りも休止する町内会が多く、銚子市が元気になるには年一度のイベントは必要である。

21日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント
1-1-(4)	観光商工課	観光プロモーション事業	<ul style="list-style-type: none"> ●観光協会関係経費 ●観光宣伝経費 ●観光アテンダントおもてなし促進経費 ○観光プロデューサー促進経費 	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会のやる気が見えない。観光協会が本気で観光客を増やす動機づけになるような仕組みづくりを考えてほしい。 ・成果が十分に(少なくとも数字であられるところでは)上っておらず、抜本的に見直すべし。観光の必要性は理解するが、厳しい財政状況を踏まえてゼロベースで必要性を見直すべき。 ・観光プロデューサーは、協会の本来業務。市は手を引いて協会内の資源配分の中で行うべき。 ・観光協会と観光関連事業者との関係の見直しが必要であり、その仲介を市が支援することがこれからの課題。 ・観光事業の整理及び観光協会との関係等の整理が必要。観光ビジョンの明確化が必要。 ・観光協会の当事者意識がまったくかええない。行政のお付き合いになっているのではない。委託はすぐに廃止し、補助に切り替え＝100%はあり得ず、2/3、1/3、0というロードマップ、出口戦略を構築すべき。公益を担う観光案内所について、1/2補助とかにする方がわかりやすく、理屈も通る。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光プロデューサー及びクリエイターの2名、委託廃止し「観光協会職員」が対応すべきです。 ・銚子市が金も口も出す問題ではない事業です。 ・やるなら市が全部やった方が明確なのは。協会のタッグ(連携)が重要。制度の乗っかり方に問題。協会の補助的存在ではダメだと思う。クリエイター・プロデューサーはボランティアでも良い人材が集まるのでは。 ・観光協会(組織、職員、事業内容etc)そのものが不明確であり、市の関わり方は考え直し、作り直すべき。観光事業だけでなく、あらゆる事業で行政側がどれだけ現場を見ているのか、知っているのかという疑問を持った。 ・観光協会に頑張っていたきたい。仕事として受け身な印象です。 ・雇用、委託の理由、目的が不明瞭。慣れ合いでお互いにもたれかかっているように感じる。全面的に見直してほしい。せっかくのプロデューサー・クリエイターの能力が現状で本当に出されているのか評価ができなかった。 ・協会がメインなので市は協力だけで良いのではないかと。PRが足りない。

※予算事業名中、●印については、時間内で判定に至るまでの議論をされませんでしたので、今回の事業仕分けでは判定しておりません。

21日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント
1-1-5	観光商工課	観光振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ●観光ボランティア関係経費 ●海水浴場関係経費 ●観光施設環境整備経費 ○観光コンベンション誘致促進経費 	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の大规模宿泊業者のみがメリットを受けている。しかも、1泊1000円割引が誘致にどれだけ貢献しているのか疑問に思う。 ・効果が薄いとしか思えず、必要性が感じられないので、抜本的に見直すべき。 ・本来は宿泊事業者の仕事、制度からPRまで全て行政がやるのではなく、宿泊事業者の主体性をもたせるような制度設計が必要。 ・制度設計においては、事業者と共に検討すべきであった。150万円でどのような誘致施策が有効なのか、再度事業者に投げかけてみてはいかがか。 ・効果が薄いのではないか。実施主体を考え直すべき。 ・人数が(団体が)集まるほど事業継続できなくなるという根本的問題をどうするか。成果目標の引上げ(10000人泊程度)。必要なのは誘客の取組み。お金をインセンティブにするのではなく、将来的にサービスで勝負すべき。まずは、誘客ツアーに事業者を同行させること。その費用を予算化する方が適切ではないか(この1000円/泊は廃止)。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行先を選ぶ時は、観光の目玉や、サービスの良さなど、非日常的な満足を得られることを重視します。1000円では心がなびきません。銚子で誘致が望める団体のターゲットが、例えばスポーツならば、そのための施設に補助を出す等した方が有効ではないかと思えます。 ・今日の話聞いていて、今のままでは、申し訳ないが今の銚子の状態では一番先に廃止しても良いと思いました。悪い言葉で言うと薄っぺらい事業です。 ・宿泊施設側のおもてなしであって、市が補助金を出してもてなす必要はないと思えます。市の職員の熱意が不足。 ・役人の人気取り。 ・宿泊業者がやるべき事業です。 ・補助金ではない取組に変更したほうが良いと思う。 ・団体旅行、誘致は市にとって重要課題だが、大型の宿泊施設だけに支援するのではなく、犬吠全体が盛り上がるような事業が必要。もっと現場の調査をしてほしい(生の声を拾う)。 ・事業内容を見ると受益者負担にすべきではないか(他の事業も同様)。 ・宿泊以外プラスα分を含め、もっと営業をしないと意味(成果)がないのでは。

※予算事業名中、●印については、時間内で判定に至るまでの議論をされませんでしたので、今回の事業仕分けでは判定しておりません。

21日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント
1-1-(6)	観光商工課	商業振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ●商工会議所関係経費 ●その他商業振興関係経費 ○プレミアム付き地域商品券発行経費 	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金の単なるバラマキとしか思えない。効果測定も行っておらず、効果が明確に見えない以上、不要とすべきであると考える。 ・経済的な効果がなく、即刻廃止すべき。厳しい財政状況を踏まえ、必要な部分に資源を集中投入すべき。 ・市内での消費が増えているかどうかは見ないといけない。増えていないならば、商品券を買った人にだけメリットのある制度で極めて不公平。既に実施した分だけで十分分析可能。 ・消費活性化の効果はないと思われる。 ・根本的な事業そのものの考え方や政策を考え直すべき。 ・何とかしたいという気持ちはわかるが、効果は不明。おそらく期待したほどの効果はない。消費代替になっているようでは経済効果は中立＝ゼロ。 新規需要をどこまで創出できるか、新たな消費ルートを構築できるか、新たな商品開発につながっているか、これを認められれば事業としてはあり得るが。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残念ながら使ったことがないが、自分が税金として負担していたのかと思うと不公平感が残ります。 ・お金を出すのではなく、時間とアイデアを出してほしい。 ・商品券が利用された店舗へのアンケートを実施しておらず、政策の結果を調べないというのは、どこまで考えて発行したのか、何で出したのかわからない。結果が重要な事業としてやりはじめたのではないのか。 ・券を購入しない人にとっては税金のムダ使いであるし、購入しても1割が税金から出ていると思うと心苦しく誰のためなのかわからない。ねらい、目的とリサーチが不十分なまま安易に公金を投入している。 ・市民と役人の感性が違いすぎる。自分が損をしないから責任がない、問われない。 ・各店舗のポイント制度の方が長い時間続くのでは。 ・事業継続の場合、換金手数料の徴収等、受益者負担とすべきではないか。

※予算事業名中、●印については、時間内で判定に至るまでの議論をされませんでしたので、今回の事業仕分けでは判定しておりません。

21日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
1-2-(1)	市民課	支所・出張所(施設の検討)	○支所・出張所等経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所、出張所のあり方、必要性について根本的に見直すべき。存続させるのだとすれば、人員配置の見直し、行政サービスの見直しが必要。 ・支所の業務内容は要改善、要検討(証明書以外の公的サービス拠点としての利活用を要検討、それによった支所配置計画も要検討)。再任用の方の体制要検討(時期制を考慮した体制配置を要検討)。 ・人員配置、不測の事態への考え方に検討必要。やはり費用対効果は考えるべき。他のサービス提供方法の検討もすべき。 ・廃止、統廃合の検討が必要。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に対する費用等の実態の明確化が必要。具体性に欠ける。 ・コンビニ等、既存施設との連携でどうにかならないか。 ・地域住民にとり身近な行政機関であり必要性のあるところです。住民のためにもっと行政サービスの幅を増やしてほしいです。経験者の方たちが支所にいるので、よりよいアイデアがあると思います。経験を生かしてほしいです。 ・西部支所の人員を減らせるのではないかと考えます。利用の多い時期に限って開設することはできないか。 ・何箇所も休まなければいけないということであれば、行ける人が行くようにすれば問題がないように思う。サービスについても、イオンでのシステムと同じにし、電話予約にすればよいと思う。天気が良くなければ行く人はいないと思う。特に高齢者は。 ・豊岡出張所廃止(イオンの行政サービスコーナー)。他の支所・出張所も毎日やらなくて良いのでは。 ・サービスの拡充。 ・コンビニ交付の拡大、郵便局の利用。

21日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
1-2-(2)	スポーツ振興課	体育協会助成事業	○体育協会助成経費	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加盟団体への補助金配分は、体協任せではなく市が決定権を持つべき。市と体育協会の役割分担を明確にし、市民への説明責任(情報発信)を進める。 ・予算、決算の見える化を行うべきだと思う。慶弔費などは支出を適正化すべき。 ・体協の事業が下部団体への補助金のトンネルになっている。市の関与が必要と考える。事業展開がしっかりあって表現できていないとすると、資料の作り方の検討が必要と思う。 ・体育協会を通すのではなく、下部のスポーツ団体への補助へ切り替えるべき。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金は良いが、分散しすぎている。別に使い道を検討すべきでは。 ・市が各種団体に直接補助するのがよい。 ・各競技団体すべてに補助金を出す必要はないと思う。 ・補助金について不明な点が多い。体育協会として市民にスポーツを広げる努力をしてほしい。 ・市民それぞれスポーツに取り組んでいることを考えてほしい。市民全容の意見を聞いて、もっとスポーツ振興に関して広く周知してほしい。 ・各協会の財政状況の把握、市と体育協会との役割分担、体育協会としての情報発信。 ・補助金の金額は違えど、割合は同じにすべき。 ・各団体が実際どういう活動をしているのか、もっと発信してほしい。補助金を全体的にもう少し減らしたらどうか。 ・各競技人口を把握した上で補助金を割り当てるかどうか、いくら割り当てるか再検討した方がよい。 ・団体側から補助金が(何に、どれだけ)必要か意見などを汲み上げるようにした方がよい。 ・銚子半島中学校駅伝大会のクオカードの必要性が不明。

21日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
1-2-(3)	スポーツ振興課	中学校駅伝大会助成事業	○中学校駅伝大会助成経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用については見直す必要がある。経済効果を試算し市民に周知すべき。銚子市の主要事業として市内外へ広報を強化する。 ・観光との連携を模索してはどうか。運営だけで完結しているのもったいないと思う。 ・金券の扱いは難しい(色々な意味で)ので、見直した方がよい。素晴らしい大会だと思うので、より効果的な運営方法を検討されてはいかがか。 ・クオカードを見直す。300万円協賛金に対し、その人たちに60万円のコストがかかっている。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通整理等のボランティアに配付するクオカードは不要。大会記念クオカードもすべての賛助・協力者が求めているとは思えない。あくまでも寄付なのだから、お礼として返す必要はないのではないか。 ・必要のないものもあり、考え次第でもっと安くできるものもある。大きな大会であるのならば、広く協力を求めて行った方がよい。 ・弁当代のクオカードを現金にしてみても(上限を決める)。繰越がもっとあっても良いのでは。朝食代は何か、必要か、誰のためにか。 ・もっと発信して、さらなる素晴らしい駅伝大会を目指したい。クオカード(大会記念)は、他の内容(広報料、近隣の強いチームの参加費等)に充てた方がよいと思う。 ・活躍した場面の写真を購入できたり、駅伝の開催時期を考え、前年のハイライトシーンなどをカレンダーにして販売すれば広報効果もあると思う。 ・食糧費としてのクオカードは必要、記念のクオカードは不要。

21日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
1-2-(4)	障害福祉課	グループホーム等家賃補助関係事業	○グループホーム等家賃補助関係経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期的視点でニーズ、グループホーム等のキャパシティ、県下他市の状況等をしっかりと検証すべき。補助金の効果を検証するためにも、グループホーム等の運営状況を確認すべき。 ・他市からの補助事業との整理をすべき、県との交付状況の統一をすべき。県の基準で県が交付し、銚子が必要なら上乘せすればよいのでは。 ・資料から、かなりの増加傾向(人数、費用)にあるにもかかわらず、将来的な対策や計画の具体的な内容がよくわからなかった。短期、中期的な対応計画を早急に立てた方がよいと思う。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その場しのぎの内容に見える。市でわかっている内容が薄い。事業費は絶対に減らせる。実態がわかってなさ過ぎ。 ・事業所の収支の確認。 ・現在の実態の把握、分析が不足すぎている。 ・これから対象者は増加すると思うし、グループホームも少しずつ増加する必要があると思うので、きちんとした計画が必要である。運営の補助がどのような基準で決められているのかわからない。ただ赤字を埋めるために補助を出しているのか、赤字理由がわかっていて補助しているのか。 ・運営費補助は住民票があった市で負担するのは納得いかない。把握すべき。旭市でNPO法人の精神のGHで支援員をしているが、旭市はGHが充実していると感じる。銚子市も、福祉に力を入れるのであれば、障害者のためのGHの誘致をすべきだと思う。 ・今後、グループホーム等、利用者が増えていく可能性があるため、金額は維持でいいと思います。福祉は難しいです。実態把握がよくわかりません。 ・毎年、事業費が増え続けているので、他の市町村と比較、補助額を見直すなどの方がよい。

21日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
1-2-(5)	障害福祉課	重度心身障害者福祉年金事業	○重度心身障害者福祉年金経費	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施の目的が不明確で、効果の検証もなされてなく、手段が目的化している。障害者施策全体を整理統合する中で、ゼロベースで見直すべき。 ・他の福祉事業を含めた全体像をもう一度整理すべき。銚子市として障害者施策をどう組み立てていくのか。議会で否決されたことから議会対策も調整すべきと思われる。 ・所得調査が行われていない。様々なサービスが提供されている。公的年金も受給していて年2万円あり、2500万円を効果的な障害者対策事業に投下すべきと考えます。 ・現金給付ではなく、いかにサービスを充実させられるかを考えるべき。効果の検証ができていない。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金をムダ使いせず、本当に必要なサービスを考えてほしい。 ・他のサービスへ考え直した方がよい。 ・広く浅くという分散的な財源の使用は効果が見込めないと思われる。局所的で効果の見込める方法を検討した方がよいと思われる。 ・平成3年から改定していない金額に驚いている。 ・福祉タクシー事業のニーズが増えてきている。スーパーが近くなってしまい、買物難民や病院受診が困っている方が増えてきており、もっと別のサービスのために有効に使っていただけたらと思います。 ・市の財政を考えると現金支給はどうかと思う。市のサービス事業を充実させ利用してもらえば良いと思う。昭和50年から実施しているとのことだが、長年、実施の改善などはなかったのか。 ・近隣、同じくらいの規模の市町村と比較をして再検討してほしい。

21日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
1-2-(6)	生涯学習課	青少年相談員関係事業	○青少年相談員関係経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォークラリー、ドッジボール大会など、レクリエーション事業が青少年の健全育成にどう効果があるのかを検証し、実施事業の見直しや地域ぐるみでの「青少年健全育成」に取り組まれない。 ・県に振り回されていると感じた。銚子市として相談員をどうするのかという積極的な提言をしていくイニシアティブを執ってもいいのではないかと。 ・事業名称と事業内容に乖離が大きく感じられた。一度ゼロベースで見直すこともありでは。相談員へのなり手が少ないことも市民の負担になっていることの現れとも思えます。県のあり方も一考の余地があると感じた。 ・相談員の名称を変えるべき。県からの押し付けにならないよう努力してほしい。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業そのものや、内容、人数などの定義を厳密に設定した方がよいと思う。何を目的としているかが曖昧になっているように感じる。 ・ボランティア活動としては、税金の投入が多すぎ。 ・隣近所の関わりが薄くなっている中、相談員の存在が今後も必要だと思う。これからの在り方が大事ではないかと思う。 ・「青少年相談員」として県、市に委嘱された人たちなので、もっと立場を確立してはいいのではないだろうか。 ・防犯パトロールは是非継続してほしい。相談員として地域密着してほしい。 ・継続する相談員に被服の支給は不要。 ・大会など全体の活動ではなく、各地域ごとの活動に重点を置いた方がいいのでは。 ・保険料等、参加費を自己負担にしてはどうかと思う。

21日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
1-3-(1)	障害福祉課	障害者(児)支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○日中一時支援経費 ○身体障害者(児)入浴サービス経費 ○障害者(児)紙おむつ給付経費 ○身体障害者緊急通報装置給付・貸与経費 ○障害者日常生活用具給付経費 ○コミュニケーション支援経費 ○身体障害者自動車運転免許取得・改造費助成経費 	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用事業の選択のためには市民のニーズを調査する必要がある。事業に係る経費見積もりを精査する。事業経費総額の見込みをした上で自己負担の適正化を図る必要がある。 ・自己負担、所得制限などで対象者、事業者を抑制することは可能。ニーズの把握、受益者(講座の受講者等)のフォローアップを徹底するべき。他の市町村と協同で価格競争をすることで事業者の単価を下げる。 ・競争入札等が行われていない。相手が独占であっても他市とも協力してコスト削減を図るべき。おむつについては自己負担を求めた上で自己購入分も同一単価とすべき。コストを下げる努力を手を替え品を替え行うべき。 ・運転免許取得促進は廃止。車の運転については一般化されているので障害者に給付する必要は感じられない。重度の障害者への給付へ対象者は絞り込む必要がある。 ・細かいコスト削減のために想定対象者数の絞り込みと発注等の費用の見直しをかけるべき。障害者がある人らしく生きるために交渉代行を行ってください。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性の調査等を詳細に把握する。対象者をしっかりと絞る。手話奉仕員養成講座は廃止しボランティア等で仕組み直し。 ・障害者への支援は大事だと思うが、決定した事項の検証がなされていないように思う。原点に戻って見直し、一つ一つの事業を検証した方がよいのでは。 ・障害者の方がその人らしく生きていく上で生きづらくなならないような対応をお願いしたい。

21日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
1-3-(2)	障害福祉課	移動支援・福祉タクシー事業	○福祉タクシー関係経費 ○移動支援経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉タクシーの協力金は廃止または必要があればサービスの内容に応じた成果払いとすべき。必要な人に必要なサービスが行き届くように制度の見直しが必要。 タクシーの協力金は廃止もしくは(回数に拠らない)定額払いにする。 協力金はなくすべき。利用時間について上限をもう少し細分化し、検証を徹底する。タクシー券の枚数にも障害の程度で差をつけるべき。 対象者は、タクシーは身障1級(知的はそのまま)に絞り込むべき。協力金は必要なし。移動支援はやむを得ないところはあるが、3ヶ月ごとの利用確認が必要。周辺自治体だけではなく、千葉市や柏市等の自治体を参考にする必要がある。18歳未満と18歳以上で世帯の所得基準を考えるなども必要である。 協力金はタクシーのサービスの一環になると思われるので不要だと思う。そもそも障害の状況が多様であるという割に基準が一律である。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実態把握した上での制度(計画)の見直しと成果(結果)を把握した上での制度の見直しと修正が必要。事業者との連携が必要。 タクシー事業などは企業が実施したサービスの内容に応じて協力金を変えるなどすべきではないか。 障害者の認定に疑問。福祉タクシーは介護タクシーとダブリがあるのでは。タクシー券の使用がなかった場合の返却制度はあるのか。 近隣市と横並びの比較は財政状況厳しき折、必要ないと思う。タクシー会社は営利企業ですから、若干のお手伝いはサービスの範囲内と思う。 タクシー業者で競争をしてもらいたいと思う。 市の財政を考え、委託先との費用面での打合せが必要(減額)。

21日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
1-3-(3)	障害福祉課	心身障害者医療費給付・難病者援護金支給事業	<ul style="list-style-type: none"> ○重度心身障害者医療費給付経費 ○心身障害者医療費給付経費 ○難病者援護金支給経費 ○精神障害者医療費給付経費 	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付金の支払いで人件費が1千万円程度ある。簡素化によって削減を。給付金については抑止力を持つためにも自己負担の導入を。援護金については当時と時代背景も変化しており、必要性の再検証、見直しが必要。 ・市町村国保の財政悪化を避けるためにも自己負担を部分的に残す。高額に限定する。レセプトの審査を強化するための適正化を図るべき。「支給経費」は旧時代的であり廃止が妥当。 ・誤請求がないように健保組合とも連携して厳しくチェックすべき。中度については自己負担を求めるべき(1/2)。財政上やむを得なく、難病者援護金は廃止。身障者についても廃止して、必要な方は生活保護に移行。 ・心身障害者医療給付は廃止すべき。難病者援護金についても同様に廃止すべき。精神障害者医療費給付は廃止して生保を検討すべきである。補助金が3/4国から入ります。 ・あった方がいいと思うのは誰しも同じ感情だと思うが、税金というみんなのお金を分配するにあたっての色々な制度を使って、自市の負担を減らすことを極限まで切り詰めるのが行政の役割では。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政難ということで、対象者に的確に支給できているか相互に確認、調査をすべき。 ・働けるのに働かない人が多すぎ、審査を厳しくした方がよい。 ・難病者援護金は、所得に応じて、生活に困っている人だけ給付すればいいと思う。医療給付経費は、水増し等ないよう精査すべき。

21日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
1-3-(4)	水産課	水産業担い手確保事業費補助事業	○水産業担い手確保事業費補助経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来展望を描いた上で補助内容、金額を見直すべき。基幹産業を守り育てるために市が担う役割を明確にする必要がある。 ・補助先を零細事業者に限定、中長期的には廃止する。日本人船員の増加、産業構造の転換に向けた政策に重点を転換していく。中長期的なビジョンと見直しが不可欠。 ・政策目的との関係で支出の合理性は説明されない。300万円を使って定常的な労働力の確保を図るべき。新規受け入れの取組み事例の業績やアドバイス機能の充実。 ・外国人技能者の育成には、全く水産業の担い手の目的とは一致しない。また、漁協にこの補助金が渡らなくても漁協は困らないのではないかと。担い手確保は全く必要なことです。手法を考えてください。 ・まずは長期であるべき姿を描いて、上層部や国、県に働きかけていただきたい。あるべき姿を考えてコーディネートするだけでも立派な事業だと思います。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銚子に住んでいる日本人の担い手に使えばいい。外人なら不要。 ・長期的に展望して市に利益が出るように、外国人よりも市民に仕事が回りやすいようにしてほしい。 ・銚子商業の水産科の生徒の進路など対応にしてみてもは。技術だけではなく、将来的に長く働いてもらえるようなシステム作りが必要だと思う。県全体で考える大きな問題。 ・銚子市だけの事業ではなく、県、国からの支援も受けていかなければ漁業は衰退していってしまうと思う。事業費は、検討を重ね、必要な所へ使われるようお願いしたい。 ・担い手づくりは長期的展望に立った方がよい。外国人を安易に受け入れるべきでない。現状では担い手育成とは言えない。魅力のある漁業、水産業を築く発想を。総合商社のような運営を未来につなぐように。

21日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
1-3-(5)	農産課	農業人材育成確保支援事業	○農業人材育成確保支援経費	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業目的に対する事業内容になっていない。新規就農が目的なのか、現就農者の定着が目的なのか、目的により事業内容を再構築しなければならない。 ・事業の実態は目的に適っていない。市として新規参入を促す中長期プランが不可欠。 ・農業人口の拡大化の関係があるのか不明。何も考えず150万円を出してしまっている。離農を減らすために何をする、新規就農を増やすために何をするかを明確にすべき。 ・外国人受入協議会への支出は必要ない。実習生に対して、なぜ視察が富士急ハイランドに必要なのかまったくわからない。農業人材育成には使途があっていない。農産課にも農業について主体的に取り組んでほしい。補助事業ではなく、手法を再考するべきである。 ・技能向上目的、新規就農(2代目等の事業承継ではない)、レクリエーションは分けた上で農業者確保のために必要な施策を切り分ける作業が必要ではないか。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が講習会等の確認をして本当に補助していいのか考えるべき。福利厚生費用等みたいな費用を払うべきではない。研修費用等は一部本人が負担すべき。農協という組織があるのでもっと活用すべき。 ・財政がひっ迫している中で事業費の使途が妥当とは思われない。行政の展望が見られない。 ・レクリエーション等の用途に使われるお金を見直せば、本質的な必要経費がわかると思う。また、アンケートや意見を新規就農者から取ることで改善策を出してほしい。 ・後継者のいない農地は農業法人で活用してはどうか。

21日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
1-3-(6)	農産課	土地改良施設整備事業	○土地改良施設整備経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な管理主体が管理できるように財産を移管する。使用用途に応じた管理方法への変更。 未利用のため池は実態に合わせて管理主体を変更。将来の管理維持コストの見通しを明らかにする。利用に伴うコストは受益者負担が原則。 10%の補助自体は認められるが、その代わりトータルの回収コストの低減を市が主体的に図るべき。 負担金(分担金)はやむを得ないと考える。ため池は廃止も含めて使用していなければ検討すべきである。また、公園など所管も替えることを検討すべきである。ため池のあり方については、地域のあり方を検討していく必要がある。 この先に負担がかからない方法を早めに検討していくべき。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアを呼び掛けるなどして広告、低コスト化した方がよいと思う。 維持管理は長期的なものであり費用もかかるので、計画的なものが大事だと思う。 農業用水として使用されていないのであれば、市から事業費として算出されなければいけないのか。フェンスで囲うなど事故のないよう整備することも必要。 定期点検保守は、年1回(忍の池)とのことであれば、除草時に一緒に行えば発見もしやすく良いと思う。全体的に縮減の方向で検討願いたい。 埋め立てて差し支えないため池は、埋め立てれば維持管理しやすいのではないか。 安全性の面などから、現在事故が起きていないので成果はあると思う。 維持費は現行通りで良いと思う。ため池の今後の使い方は検討すべきだと思う。

22日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-1-(1)	総務課	行政情報システム関係事業	<ul style="list-style-type: none"> ○電子計算組織運用関係経費 ○総合行政ネットワーク接続関係経費 ○行政情報化推進経費 ○基幹システム再構築経費 ○内部事務システム管理経費 	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな基幹システム導入による業務効率を明確に図ること(具体的な定量目標の設定など)。その結果に基づき職員配置の適正化を図ること。 ・新規契約にあたっては、中長期の観点から緻密に多様な視点から検討すべき。クラウド化を視野に広域化を検討すること。 ・随意契約の妥当性については真剣に検討すること。外注可能なものについては、必ず外注の検討をすること。 ・今後はITを使って何をどう向上させる、効率化する、合理化する、という具体的な目的目標を持って取り組むこと。 ・職員の業務負担を軽減し、本来業務に専念できる環境を整えることは重要であり、業務プロセス改善の成果を明示できなければシステム刷新の意味がない。 ・市民にとっての価値、行政コストの縮減、時間の短縮を説明すべき。システム変更により、市役所業務の何がどのように変わったのか、市民にどのようなメリットがあるのか市民に説明をしていくことが必要。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的な視点での効率化をもっと検討して、新しいシステムを運用して欲しい。 ・コストを下げる努力をもっとして欲しい。 ・常に検証する姿勢を忘れないで欲しい。 ・高額なお金を使う事業なので、もう少しプロポーザル等を増やしていくべき。契約相手の選定においては、充分検討した上で決定して欲しい。

22日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-1-(2)	地域協働課	婚活支援事業補助事業	○銚子市婚活支援経費	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政が婚活を支援する方法には、お金をかけずに出来るものがある。たとえばボランティアの実行委員会に対する会議室の無料提供、コピー機の使用など。そもそも行政が税金を投入して、一部の方の結婚を支援するのは妥当ではない。 ・民間が中心で実施して、市が税金を投入する必要はない。専任職員の必要性についても、市の税投入が無い場合を前提に検討されたい。 ・不要、即時廃止すべき。目標設定がまったくできておらず、事業を行う計画がない。 ・婚活そのものは否定しないが、少なくとも本人の利益になることなので完全会費制にするとか、協賛企業を募るとか、税を投入しない方法を検討すべき。目標も明らかでない。 ・本来行政が継続的に実施する事業ではない。地域団体等に任せるべき。 ・何を見据えてやっているのか、現状をどう分析しているのかまったく不明。もっと多くの市民を巻き込む努力と工夫を。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政が管理費をかけて行う事業ではない。 ・少子化、未婚の男女の増加がどのくらい危機的なのか、よくわからないと税金を使う意味がない。 ・はっきりした目標が見えない。 ・各団体との連携で取組み、そこで街おこしと婚活を、行政は調整役で。

22日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-1-(3)	地域協働課	市民相談・消費生活相談事業	○市民相談等各種相談関係経費 ○消費生活関係経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談・消費生活相談の業務内容について、担当課が全く把握していない。現状の人員と事務量の妥当性の判断が出来ない。相談について、内容、解決方法、解決までにかかった時間など詳細に現状を把握し、分析することが必要である。市民サービスの質の向上を図るためにも現状把握が必要である。 ・相談記録の把握を行い、市民に周知し、啓発活動を充実させていくことが重要。相談の解決件数の把握が必要。苦情・相談の記録をまとめ、市の施策に反映させることを検討すべき。 ・実績が全く見えない。きちんとしたデータに基づいて、必要性そのものから見直しすべき。 ・相談業務は否定しないが、一般相談は年60件(週に1件)、消費生活相談は年458件(日に1件~2件程度)で、活動量、成果も明確でなく、適切な人員配置なのか判断できない。事務量、必要量の記録把握から始めるべき。 ・一般相談は日数・時間を調整して経費削減を図ることができるのではないか。 ・業務内容が的確に説明されず判定不能。日々の業務管理を行った上で、相談内容の分析、対応策の検討、関係団体の調整など具体的な取組みに反映させるべき。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグネットバーは全く無駄だと感じました。 ・講演は良いが、アイデア教室やキッチン教室は市でやることなのか。一部統合はできないのか。

22日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-1-(4)	秘書政策課	バス路線運行維持費補助事業	○地方バス路線運行維持費補助経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金削減に向けた努力の跡が見られない。詳細で緻密な現状分析をすべきと考える。路線の運行状況の変更や受益者負担の増なども検討課題だと考える。 ・実態調査の実施で、利用状況、利用目的、時間等の把握をし、バス運行の重点化、バスの大きさ、雇用形態の提示をすることで補助の上限設定が可能。利用料金の見直し、利用者の増加による増収対策などにより抜本的に見直しされたい。 ・赤字補てん形式を廃止し、インセンティブが働く制度を構築すべき。長期的に少子高齢化により、状況が更に厳しくなっていくことを前提に長期的に維持可能な制度とすべき。 ・バス路線の維持は理解できるが、赤字補てんだけが目的になっている。計算が2社まちまちである等、赤字内容のチェックも十分でない。経営努力が生かせるような工夫が必要である。 ・路線維持に向けては、利用者、事業者、行政がそれぞれ努力するシステムを考えていくべき。高松市の例も参考に。受益者負担の視点も入れて検討を。 ・そもそも今までこの方法を良しとしてきたところが問題。実態把握と改革策に抜本的に取り組むべき。単なる赤字補てんでは経営努力も利用向上にも繋がらない。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の側からバス会社、利用者、大学などへの働きかけなどの努力によって、もう少し維持費を減らす努力をして欲しい。 ・実態調査をすることで改善策は見つかると思う。 ・バス会社の言いなりになっている。企業努力を求める方策が必要だ。

22日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-1-(5)	秘書政策課	広報紙発行・ホームページ運用管理事業	○その他広報広聴経費 ○ホームページ再構築経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全戸配布については検討していただきたいが、市民意識調査の結果を見る限り、よく読まれているようだ。今後も引き続き経費削減の努力を続けて欲しい。 ・印刷製本、レイアウトを含め事務の委託化する等、抜本的見直しが必要。配布方法を新聞折込からポスティング方法に変更する場合のメリット・デメリットの整理をされ、シルバー人材センター等での活用を含めて見直しされたい。市長への手紙の回答は、1週間以内に一定の対処が必要。 ・いったん広報紙を廃止して、1、2ページのお知らせ紙にして全戸配布してはどうか。広報の重要性はわかるが、今のやり方では、まったく市民に対しての説明がつかないのではないかと。 ・経費の低減を図るため、紙面を刷新するため編集の委託をかける等の方法を考えてはどうか。郵送は過剰サービスである。 ・配布方法の検討、より多くの市民に届くように。 ・すべての市民・事業者に届けられる手立てを講じるべき。今のままでは届くところだけ。新聞折込による配布状況を精査すべき。紙面の構成、入力するのは再検討すべき。デザイン等の専門家を非常勤採用する。デザイン、印刷を一括委託する。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布方法をもう1度検討すべき。編集等は委託して安くなるようであれば委託したほうが良いのではないかと。 ・部数、配布方法をきちんと調査のうえ、作成部数を改善した方が良い。本当に市民に伝えたい、届けたい必要な情報を載せているのか、配布する意味が明確に伝わらなかった。 ・今の広報ちょうしは充実していて毎月1日を楽しみにしています。印刷は2色刷りでよいのでは。郵送配布をやめて、町内会にお願いしてみてもどうでしょうか。

22日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-1-(6)	秘書政策課	銚子学基金積立金	○銚子学基金管理経費	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基金積立に一般財源を投入するマッチング方式は見直して欲しい。銚子学基金は何をすべきか、基金のあり方自体を抜本的に見直す必要があると思う。 ・基金のあり方、市民からの浄財の集め方等で抜本的に見直しされたい。 ・マッチングギフト方式はもちろんのこと、基金として存続させる必要は無く廃止すべき。 ・一般会計から支出しても同じ。基金の必要なし。 ・基金として置いておく必要がない。寄付の有効な活用を行っていけばよいのではないか。 ・基金を造成し活用する意味がない。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附金のあり方、基金としてのあり方の見直しをするしかないと思う。ジオパーク支援や霧笛信号保存は大切にしていきたい。 ・観光産業活性化の為の新基金。 ・基金設立時の目的、目標、使い道を考え直してみるべき。

22日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-2-(1)	社会福祉課	社会福祉協議会補助事業	○社会福祉協議会経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政と社協との役割分担を明確にした上、委託事業、補助事業を整理するなど資金収支を明確にすべき。プロパー職員のモチベーションが向上するよう、社協にインセンティブが生まれるような仕組み作りが必要。社協事業、事務費を見直し、効率化を進めないと近々に基金残高が無くなるので早急に対策が必要である。 ・人件費として交付する分は見直し、真に必要な事業費分を交付するよう改善すべき。 ・基金を毎年取り崩さないような事業計画が必要。 ・地域における福祉を担う主体は社協と行政だけではない。他のNPO等との役割分担を踏まえて見直しすべき。 ・社協の事業実態の把握がしっかりと行われるべき。早急の赤字是正を。 ・収支の実態把握、補助金支出の根拠を明確にすべき。人件費を補助している社協にしかできないことは何かをもっと考えるべき。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協自体の事業見直しが必要であり、市は社協の監査、監督をしっかりするべき。 ・各事業の整理(切り捨て)が必要。何十年も事業を見直ししないのは異常。協会の人員整理。赤字の理由がわからないとは究極の失礼。 ・社協の存在意義がわからない。 ・生活資金等貸付の基準がわからない。

22日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-2-(2)	社会福祉課	保育所(施設の検討)	<ul style="list-style-type: none"> ○海鹿島保育所運営経費 ○保育所運営経費 ○一時預かり促進事業経費 ○一日保育士体験経費 	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立、民間でのサービスが同一という前提で民営化を進めるべき。公立ならではの役割があるのであれば、数園を公立で残すということも考えられる。 ・これだけの人員と維持費を抱えながら当事者としての問題意識が感じられない。危機的状況を考え早急に対応すべき。 ・財政を考えれば速やかに民営化の計画を立て実行すべき。子育てに関する部署の統一が必要。 ・海鹿島保育所は指定管理に形式上だけ変えているが、サービス面でもコスト面でも変わっていない。これでは指定管理者制度を導入した意味がない。全般的にコスト比較やニーズ把握などに対する認識が甘い。公共が担うべきもの、民が担うべきものの棲み分け、ニーズを十分把握した上で、縦割りではなく全体的、長期的な視点から抜本的な対策を検討すべき。 ・民間への移行を検討されるべきだと考えます。 ・幼稚園との連携が全くできていない。これまで問題意識を持たな過ぎる。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期に民間委託すべき。少子化と事業再編計画がマッチしていない。中・長期計画が全く無い。インカムが見えているのに経費を垂れ流している理由がお粗末。公でしかできないと判断している内容が実態とかい離している。 ・改善をするべきことに目が向けられていない印象。制度変化に対応できるのかに不安を感じる。 ・入所者数が定員を満たしていなければ、再編、民間委託を積極的に進めて良いのでは。

22日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-2-(3)	学校教育課	幼稚園(施設の検討)	○幼稚園保健関係経費 ○その他幼稚園管理運営経費	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園への入所児童数の少なさや民間幼稚園の空き状況から、廃止、認定子ども園化を視野に検討すべき。未就学児童に対する教育・指導について前向きに検討されたい。 ・危機感が全体的に感じられない。幼保一元化等の問題についても対応できるのか疑問。この財政状況を考えたらのんびり構えていられないはず、早急に対応を。 ・定員を大幅に下回り、存続は難しい。保育園との統合、子ども園化を図るべき。民間幼稚園との関わりが必要ではないか。子育てに関する部署の統一が必要。 ・数値(入園数と定員の比率)をみると、明らかに公立のニーズがないと言ってよい状態である。ニーズに対する認識が少し甘いと考えられる。公立が何を担うべきか、民が何を担うべきかを十分考え、縦割りではなく全体の視点を持って長期的なビジョンをもって対応していくべき。 ・公立のニーズがほとんど無い状況から、早急に民間へ移行すべきと考えます。 ・保育園に同じ。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園の必要性が無い。 ・全面廃止して、私立と保育所に移行すべき。 ・現況を認識した改善等を考える必要がある。 ・公立幼稚園のニーズに対する認識が甘い。

22日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-2-(4)	社会福祉課	母子自立支援・DV相談事業	○母子自立支援経費 ○DV相談経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談は必要であり、重要な事務であるとは理解するが、相談件数が少ない事から相談員の総数を調整できるのではないか。 ・もっと専門性を持たせることが必要と考える。家庭問題情報センターの研修を活用するなど。 ・間口を広げて、1人でいろいろな相談に対応できるスキルアップが必要。 ・第1次的な相談を受けるという点では意義はあるが、高度な専門性が求められるというよりも、つなぎの役割がメインであると考えられる。それであれば、別途専門員を雇うことより、OJTで職員を育てる方向もありうる。このような視野も踏まえて、方向性について再検討すべき。 ・相談内容のジャンルを統合したり、合わせることで、相談者への対応の効率化、事務の効率化を図ってはどうか。潜在的なニーズへの啓発もお願いしたいと思います。マンガのアイデアが良いですね。 ・説明の方の思いが強く、非常に良かった。他の相談と合わせて実施。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を積んで、相談員1名にする。 ・仕事を分けるのは無意味。家庭の問題は複合的な要素が多い。総合的な受付と対応ができる人を設置する方が合理的に思う。

22日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-2-(5)	学校教育課	小・中学校パソコン設置・管理事業	○小学校パソコン設置・管理経費 ○中学校パソコン設置・管理経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを設置することが目的ではなく、児童・生徒への情報教育が目的であるはず。成果目標を明確にして効果の検証をすべき。リース契約更新時には再リースを活用し経費縮減に努める。いずれにしても学校教育課が現場の状況を確認すべき。 ・予算をかけている割には有効に活用されていないといえる。国の指針となっているため事業を廃止することは難しいが、目的を明確にし利用頻度を含めて必要台数を精査する必要あり。もっと台数を減らしてもいいのでは。 ・市できちんとしたパソコン教育のプログラムを作成し、プログラムにあったソフトの用意、研修をきちんとやるべき。パソコンは道具でありスキルをどうやって身に付けさせるかが大事。銚子市単独では、できないのではないかと。他市などといっしょに改善をやるのが現実的か。 ・児童3.6人に1台という目標値をただ目指すのではなく、現状と課題を把握した上で、最小のコストで最大の効果が得られるように方向性を検討すべき。リース時期の統一によるスケールメリットも考慮すべき。現在では、タブレットPCなども安価に出てきていることもあり、PCルームでのみの授業でなく柔軟にPCを持ち歩ける授業もできる可能性がある。 ・児童・生徒の情報リテラシーの標準(規準)モデルを市が持っていないため、どこまで、何を学習すべきかが曖昧であり、効果測定できていない。入札についても、台数を合わせたスケールメリットを検討されたい。 ・単に子どもたちにPCを与えているだけで、どのような教育効果があったか把握できていない。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員研修の内容が重要だと思う。 ・安くすることが必要、ソフトの選択を詳しくすること。 ・パソコンの再リース化についても検討必要か。 ・使用するパソコンソフトを学校任せで選定させているのは、能力の評価が難しいのでは。 ・契約やハードに関してコスト削減できるものは徹底していかざるを得ない。ムリ・ムダ・ムラを減少して。 ・人事異動があるので全校統一すべきである。子供の教育レベルに差が出てはいけない。 ・入札に競争の要素が見当たらない。

22日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-2-(6)	学校教育課	小・中学校管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ○その他小学校管理運営経費 ○その他中学校管理運営経費 	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このペースで削減を続けていくと教育目標が達成できない事が心配される。統廃合を含め根本的な見直しが必要。学校教育課が現場の状況を確認できていない事が最大の問題。 ・あるべき学校教育を行うことが本来の教育目標の達成といえるが、この状況では学校を維持することが目的となってしまう、本質を見失っている。早急に再編を。危機感が無さすぎます。本気で取り組んでいただきたいです。 ・施設面、管理運営費、児童数を考えれば、小中学校の統廃合は避けられない。小学校区がコミュニティの核になるという日本の現実を見ると小学校区の統廃合はコミュニティに与える影響は計り知れない。銚子市の危機を強く認識すべき。 ・現状と課題の把握が十分できておらず、縦割りの状態で全体最適が考えられていない。根本的には学校の統廃合の問題があり、早急に検討を進めるべき。市民を巻き込んで学校運営の方向性を一緒に考えて行くべき時期に来ているのではないか。ただ統廃合までは時間がかかるので、内部事務の効率化を図っていくべき。 ・学校再編を見据えた方針を早く立てた上で対応が必要と思う。このままでは、耐震工事の費用もムダな部分が出てしまう。早急に対応を。 ・統廃合のスピードを早める。危機感を持つべき。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会が何をやっているのかわからない。昔のままで引き受け、進歩もわからず、ほんとうにやるべき仕事をやってもらいたい。 ・現場でどう使われているのかを把握し改善すべき。早期に再編を行わないと学校の維持ができない。とにかくスピード感を持って。 ・中長期計画の見直し、少子化への対応の甘さ、遅さがひどい。教育に対してもっと効果的な資金活用をしてもらいたい。お役所仕事まる出し。責任のなすりあい何か解決できるのか。やりっぱなしのしわよせを子供に押し付けなくて欲しい。統廃合について真剣さが足りない。この財政状況をしっかり説明して理解できない市民ではない。市民をバカにし過ぎ、思考停止しているとしか思えない。 ・小・中学校を至急統合すること。2034年の期限の理由がわからない。 ・生徒数の減少は確実なので、学校の統廃合、再編を急いでやるべき。

22日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-3-(1)	学校教育課	小・中学校外国語指導関係事業	○外国青年招致経費 ○小学校外国語活動補助事業経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助の役割は何か。具体的に設定して、その役割に見合った人を設置すべき。 ・JETに代えて教育能力のある外国人教師の雇用、民間事業者との契約に切り替えるべき。市レベルで対応できないなら県に責任を移管するべき。 ・契約の方法は交付税にこだわらず、持続的教育のできるよう民間委託もよく検討すべき。JETプログラムにこだわるべきではない。教育のスキルアップが基本。英語教育の方針をしっかりと持つべき。 ・日本の国際化に向けて最低限の語学力が必要であるとの認識の共有が必要。外国人教員の確保。 ・ALTが英語力の向上にとって効果があるか不明である。ゼロベースで見直しを行う必要がある。英語の力を向上させるための方法としては、委託を考える方が良いと思う。小学校については、異文化交流であった方が効果があると考え。教育として英語が不得手だから5、6年生を持たないというスタンスの教員は教育者として問題がある。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師のスキルアップをお願いします。 ・安定的な教育を実施する為にも民間業者に変えた方が良いと思う。

22日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-3-(2)	消防本部	常備消防関係事業	○その他常備消防関係経費 ○消防ポンプ自動車等整備経費(署用)	(4) 銚子市 (現行通り)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で統廃合も見据えて検討すべき ・市レベルで整備していくことは、中長期的に困難、広域化の推進が不可欠。 ・常備消防の改革方針を考えるには「人財育成」「仕組み」「効率化」の観点から総合的に取り組むべき。広域消防はあきらめず、ねばり強く進めていくべき。 ・東南海地震等が想定されるなかで、広域エリア防災計画及び体制の構築とともに、広域の安心安全消防体制を樹立すべき。 ・当面としては分遣所を減らす等の工夫は必要である。5ブロックの自治体の状況が記載されていないのは比較ができない。広域化は協力で推進していく必要がある。課題を整理する必要がある。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域的に実施することのメリット等について具体的に説明が欲しい。 ・交通状況から分遣所の削減は出来ると思う。被服貸与について、あまりに期間が短い、無駄遣いだと思う。大事に使って欲しい。 ・これからは銚子市と他市町との広域化を密にしていきたい。

22日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-3-3	消防本部	消防団関係事業	<ul style="list-style-type: none"> ○消防団員経費 ○消防団用車両等経費 ○その他非常備消防経費 ○機能別消防団経費 ○消防ポンプ自動車等整備経費(団用) ○小型動力ポンプ付積載車整備経費(団用) 	(4) 銚子市 (現行通り)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の応募方法、検討すべき。ポンプ車の配置を再検討すべき。 ・災害対応に消防団の機能、整備をシフトさせるべき。形式的な訓練は廃止。団員の負担軽減に努めるとともに体験入団など門戸を広げることも一案。 ・団員確保などの課題がある中で、操法大会や出初式など儀礼的部分をどうすべきかゼロから考えてもいい。その上で報酬のあり方を見直すべき。団活性化対策のレクリエーション10万円は廃止すべき。非常勤であれ公務員である以上、こうした経費は慎むべき。 ・地域防災の根っこの部分なので、より身近な地域から応募がある状況創出を常に目指すべき。 ・ポンプ車については、41台必要なのか。団組織や部について、再編を考えるべきである。人員は確保する必要がある。機能別に分団の中で分ける必要がある。分団の機能を中心になる体制、強化を図る必要がある。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操法大会ありきの訓練に若い人が地域奉仕の気持ちがあっても参加したがない。仲間どうしの繋がりを作るため国の行事に出る回数が多く、飲み会、旅行参加の強制が嫌がられる。 ・消防団の定義づけが必要だと思う。 ・42台は多いのではないか。統合を検討願いたい。 ・消防の最大の目的は市民の生命、財産を守ることであり、その手段として消防ポンプや資機材等がある。市民としては、1分でも早く消火、救命をしてほしいので、その実績や成果を具体的に出し、目標達成できるか分析し、原因究明と対策を実施して欲しい。 ・リスクに対する備えで有事に活動をスムーズに実行できる体制を維持する為にも現行の体制は必要である。

22日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-3-(4)	職員課	職員研修・福利厚生事業	○職員研修関係経費 ○福利厚生関係経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断先等委託先を検討すべき。研修の効果も全く不明。 ・研修、検診の効果が不明。 ・研修のみでなく、トータルな人事システムを立案すべき。人財育成の基本は自学であり、これを誘発する人事諸制度の構築が必要。福利厚生は最低限とすべき。財政状況を考えれば事業効果を疑問視する以前の姿勢の問題である。 ・職員の資質向上に繋がる実務的な研修とモチベーション向上に繋がる人事管理制度の構築が急がれる。外部目線も交えた面接の導入が必要。 ・研修だけでは人財育成は困難である。勤務評価の活用や実際の仕事における改善について評価していくことをすすめて欲しい。研修体系はゼロベースで見直す必要がある。外部講師より内部講師を育成、活用すればダブルで効果がある。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間人は、自分で情報を手にして自費で勉強しています。 ・経費負担の優先度を考えながら実施すべき。 ・業務内容を見ると目的が研修であるように思われる。目的をもって具体的に出し、スキルアップがされ仕事のスピードアップ、業務改善が図られ、人員が何名削減できた等、明確に出してみては。

22日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-3-(5)	地域協働課	町内嘱託員事業	○町内嘱託員経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会の運営費は別途充てる事業を検討すべき ・町内会の主体性を重んじ、公益に適する活動水準に応じて補助金を配分すべき。 ・地域自治の仕組み自体を転換する必要がある。 ・こうした個人へわたる経費ではなく、必要な公益事業を考え、実行する経費に振り替えるべき。 ・町内嘱託員という呼称は即やめるべき。地域協働課としてのスタンスはいかがなものか。自治会の主体性を大事に。 ・町内会との関係性も含めてゼロベースで再度見直しを図るべき。町内会活動費の補助ならば個人に対する支出は辞めるべきである。町連については、補助金の支出は収支状況からも必要ない考える。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制を変えるべき。 ・嘱託員事業の目的と実際の内容があっていない。 ・町内嘱託員のあり方と町内連絡協議会についても見直して頂きたい。 ・報酬が何故必要なのか。ボランティアではないのか。時間をかけても変えていくべきでは。役所のやる気が大事。

22日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
2-3-(6)	地域協働課	町内外灯維持管理事業	○町内外灯関係経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が分析して助言したりする等、設置理由、効果を分析すべき。 ・防犯施策の中での位置づけを見直す。仮に事業を廃止するなら他の手段を講じるべき。事業を続けるならば、LEDの普及などメリハリを付ける。 ・地域防犯体制は、外灯以外、パトロール、マップなど総合的、持続的制度に再構築していくべき。 ・設置本数の見直しと場所の選択と集中を実行し、トータルコストの削減を町内会と共に考えるべき。 ・設置補助は残しても、電気料金補助は廃止する。設置のLED化や変更にもっと補助率を上げる等、工夫をすすめる必要がある。ゼロベースで見直しを行う必要がある。他の自治体の工夫例を参考にした方が良い。LEDは設置費抜きで13,500円で売っています。工賃込みでも今とあまり変わらないのではないかと入札する。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助があるから増えていくのか。補助金のあり方を一考願いたい。 ・町内外灯は市民安全のため必要である。これからはLED電球を多くする防犯を常に一番にし、銚子市と地元の町内の人と良い考えを出せるようにする。

23日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-1-1	水産課	漁港等清掃美化事業	○漁港等環境整備経費	(2) 国・県・広域	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約の内容によっては地方財政法28条に反する。そもそも都道府県と市町村の関係を明確にする視点は重要。 ・管理者の立場を明確にした上で、複数の関わる対象を調整する役割を期待。 ・県に管理責任のある施設であり、実施者が市だとしても相応の委託料を得るべきではないか。不法投棄の問題については、漁港だけでなく市全体でどのように取り組むか検討すべき。清港会だけでなく市民を広く巻き込む等。 ・施設の設置者が県であるので、県が管理することを原則とし、管理委託は市が行うにしてもその費用は県が負担するべきである。県との協議を強く申し入れされたい。 ・解決すべき課題、問題があるのに、市の権限がないために目標を達成できていない。この現状を打開するには県、漁協との役割分担、費用負担を明確にすべきだ。 ・県の管理部分については、当然県が果たすべきもの、費用の面で。不法投棄やゴミ捨て防止は関係課と連携した取り組みを。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港内の不法投棄については、県土木事務所にて年1回入札を行い業者を決めて週2回の清掃(水、土)を行っている。あえて市で助成するものではない。 ・再度、県と交渉を。 ・県と市との管理をはっきりと。 ・県の仕事を市が代行するのであれば、経費を請求すべし。本来、市でやるべき事だけをする。それを修正する仕事が市の仕事だと思う。 ・主に利用している漁協も負担するべきではないか。住民、観光客の利用は少ないのでは。 ・他の県市町村の状況も調査し、市をあげて改善を求めた方がよい。

23日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-1-(2)	水産課	廻船誘致対策事業	○廻船誘致対策経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常にコストパフォーマンスをチェックする機能の強化に努めるべき。 ・補助金という考え方ではなく、10年～20年先を見据えた市しかできない方向性を。 ・110万円の補助金という形式は抜本的に見直すべき。出すのであれば用途の明確化、効果について把握すべき。水産業を応援するあり方はお金を出すということが良いのか。お金よりも中身と考えて見直すべきではないか。市だからこそできることは、税金を産業に配分すること以上に市長の名、市を代表して顔を見せたり、名を出したりということだと思います。 ・補助金の交付でなく、同行訪問や感謝状の贈呈に振り向けて、市の気持ちを組合に伝えられるように方法を転換されたい。 ・廻船誘致の意義は理解できるが、漁協に必要不可欠な補助金とはいえない。110万円が妥当なのか、さらに補助すると水揚量を増やすことができるのか不明。市の姿勢を見せるのは補助金だけではない。ゼロベースで見直すべきだ。 ・生きたお金になっているのか疑問。目標と成果が曖昧、廻船誘致の実績の把握も曖昧。補助はやめてトップセールスや同行訪問に資源を振り向けるべき。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金を出すのではなく、賞状のみを市で行うべき。あくまで漁協が主としてやるべき。 ・水揚向上に向けての対策であるが、銚子漁協の実績になるので補助金を無くし、銚子漁協が行うべき。 ・税金を使うべきではない。漁協の企業努力が必要。他の民間企業はもったきつい。 ・H16に優良賞の廃止をしながら奨励賞を新たに新設とは？ ・市と組合の役割を明確にすべき。市の経済を盛り上げる役割は、団体の目的としてあたりまえではないか。なぜ漁協だけにこだわるのか。 ・補助金は事業への補助なのか、協力金なのかよくわからない。

23日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-1-(3)	水産課	漁業乗組員共済掛金助成事業	○乗組員共済掛金・漁業共済掛金助成経費	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加入率向上等アウトプット(結果)、アウトカム(成果)指標の明確化、10%補助の妥当性を説明すべき ・加入の告知を要検討。 ・国・県からの補助率が非常に高い。市として補助をそもそもするのか。また、する場合は掛金の10%が本当に適切なのか。市の財政状況、契約者の財政状況を踏まえ、抜本的に見直すべきではないか。また、加入が強く推奨される、加入促進の対象者はどれだけいるのか、その加入状況はどうか、調査し目標設定すべきではないか。 ・国や県の補助制度がある中で、市単独の補助制度を一律に実施するのではなく、未加入者の加入促進につながるような補助金の重点化を図りたい。漁業者の経営状況を把握し、保険料の負担がどの程度となっているのか、加入の目標をどこに置くか明確にすること。 ・国・県で実施している制度に上乗せして補助する必要があるのか。加入率が低い現状を開するには、国・県で作っている共済制度そのものを見直すべきではないか。市が自律的に企画しているとは見えない、ゼロベースで見直すべきだ。 ・加入状況や経営状況等の分析もせずに単に1割補助しているだけ。どういう効果を発揮しているのかわからずにこれを続ける必要性は薄い。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度そのものも不要な気がする。 ・補助金の背景の実態把握ができていない。執行部側の前例踏襲的思考の典型。 ・生活保障を目的としている保険であるならば、加入促進に行政としては力を注ぐべき。公金を投入するのに一部の人たちだけのために助成するのは不平等と思える。 ・少数の受益者に対して、一律で補助することは大多数の市民に対して不公平ではないか。 ・保険に地方行政が補助をするべきではない。 ・国・県が補助を出して、更に市が出す必要があるのかわからない。5t以上の加入率増加を目指すならもっと国・県に対してもっと声掛けすべき。5t以下がゼロは、どうしてゼロなのかきちんと調べるべき。5t以下の人達のこと考えるべき。 ・共済制度の内容が十分理解されない状況に感じる。

23日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-1-(4)	健康管理課	夜間小児急病診療所 関係事業	○夜間小児急病診療 所関係経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立病院への移管を即検討すべき。その上で2次医療圏での対応・方向性を視野に入れるべき。 ・コストを明確にし、わかりやすい制度づくりを。 ・事業開始時に旭中央から一次救急の維持をと言われたとのことだが、これまでの実績(患者数、症例内容)を踏まえ、見直しても良いのではないかと。一部負担金を出す形などもありうる。また、今後医師不足により銚子市内からも開業医が旭中央の一次救急を応援することもありうるのではないかと。 ・市立病院の機能を活用し、休日、平日、夜間診療を大人を含めて実施することを調整すること。中長期的には、2次医療圏の中で機能分担を明確にされたい。 ・コスト、わかりやすさ、診療内容等を踏まえ、市立病院への委託、輪番制、その手段をゼロベースで見直すべき。 ・2次医療圏内でのあり方を県、圏内市町村と協議し、再定義、再構築すべき。当面は市立病院への移管を早急に具体化すべき。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭中央病院に銚子市として補助をして受け入れ要請してはどうか。 ・市立病院での小児救急ができるように早目の対策を強く望む。 ・診察できない土日が親の不安が大きいため、やるなら土日行うべきであり、今後も市が担うべき。 ・早期に銚子市立病院へ移管するように努力が必要である。

23日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-1-(5)	健康管理課	各種健康診査・検診事業	<ul style="list-style-type: none"> ○がん検診経費 ○結核健康診断経費 ○健康診査経費 ○健康相談経費 ○健康教育経費 ○健康増進事業経費 ○若い世代の健康診査経費 ○特定健診関係 ○人間ドック関係 	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトプット(受診者数)とアウトカム(健康寿命等、医療費の抑制等)を明確にすべき。 ・定量的データに定性的生活感を重ね合わせてアウトカムを設定。 ・検診事業・予防医学的的事业の中で優先順位を設定(公衆衛生的観点、あるいは地域的特性など)し、現下の財政状況を踏まえると受診者負担に濃淡を付けて実施すべきではないか。目標設定は、現実的なものとした上で受診促進すべきではないか。 ・検診の結果から癌治療、癌精密検査などの状況、さらに早期治療、早期検診に寄与したのか成果を目指すべき。自己負担のあり方について、少なくとも5割負担を求めるべき。健康づくりのための総合的な計画をつくり、全市あげて取り組むべき。その前段で、国保加入者の検診とレセプトデータの突合を行い保健指導の対象者を選定して、個別指導して生活改善を図られたい。 ・保険者として、赤字に転落した状況を考えれば医療費の削減策として受診率を上げる努力が必要だ。受診率が上がらない原因の分析、他市の事例を参考にして欲しい。場合によっては的をしばった現実的な目標設定が必要だ。 ・受診率の向上を図るための手立てを再考すべき。現状、負担軽減にはなっているが、受診率向上には結びついていないと判断する。広報なのか補助のあり方なのか、制度の隙間なのか？ <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業のPR、啓蒙活動が徹底されていない感じがする。PRの工夫をすること。 ・受診者を増やし死亡率を減らす事も凄く大事だし医療費の抑制にもつながる。しかし、ただ単に受診率増加を目標とするのではなく、予防として教室を開くとか保健福祉センターを有効活用するべき。 ・銚子市の状況を考えると自己負担率を上げるべき。胃がん検査はバリウムからABC検査(低コスト)に変更するなどコストダウンを検討すべき。 ・受診率が悪いのはなぜなのか、きちんと分析して対応しなければ、予防にかけている予算も国保の医療費も結果ムダ金になってしまう。 ・人間ドックの補助金を含め、金額を見直すべき。

23日【第1会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-1-(6)	健康管理課	各種予防接種助成事業	○予防接種経費 ○子宮頸がん等ワクチン予防接種助成経費 ○高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種助成経費	(4) 銚子市 (現行通り)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標接種率を明確にし、常に成果評価しながら事業改善すべき。手法は継続でよいが工夫は必要。 ・目標を明確に！ 制度に的確に対応する体制(医師会、行政、医療機関、学校)の確保が望ましい。 ・リスク/ベネフィットの判断は個人に委ねられているとしても、公衆衛生学的観点から国で一律のサービスであるべき。ただし、接種率の向上については対象者の近くにいる自治体として、より一層工夫が求められる(告知方法、啓発方法)。 ・実施単価については、さらに引き下げる努力を。市立病院の活用を積極的に働きかけられたい。 ・漏れの無い接種に努めて欲しい。接種率の公表については市の姿勢が問われるので十分注意して欲しい。目標を持ち、それに近づける努力が必要だ。他の都市の事例なども参考にして欲しい。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立病院が経営難であるといわれているので、予防接種業務、検診業務を任せてみては。 ・予防接種率の向上を図って欲しい。 ・予防接種の推進だけではなく、副作用の危険性についても手を抜かず説明して欲しい。

23日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-2-(1)	都市整備課	住宅耐震化等対策、被災住宅再建利子補給事業	<p>○住宅・建築物等の耐震化促進経費</p> <p>●住宅・建築物アスベスト対策経費</p> <p>●被災者等住宅再建資金利子補給経費</p>	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を作った都市整備課が、きちんと主導権、責任を持って促進すべき。市有建築物については市が責任を持つべきだが、財源がない中、民間住宅については個人に任せても良いのでは？国・県の財源のみにしてもよいのではないか。 ・都市整備課が中心となって優先順位を決める具体策を実行してください。苦しい財政状況では市民のために本当に必要な事業は担当課の熱意が大きな要素になると思います。 ・事業の全体像と実施見直しを担当課自身が明確にして、全庁の共通認識にするとともに、市民の理解を得ることが必要と考える。 ・民間木造住宅は耐震診断と改修をすべき対象(危険地域、対象者等)を重点化し、対応をしていくべき。市有建築物については現況を十分に把握した上で、計画を全庁体制で作成し、改修を図っていく必要があると考える。 ・担当課が全体状況を把握し市としての優先順位を把握できていない。早急に対応すべきと思います。民間の建物については、計画どおりにいかないことは明らかです。見直しを行うべきです。 ・司令塔になっていない。財政的状況も含めて実効的な計画を作り直すべき。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が達成できて成果になるのかを想像して本当に実行するつもり計画を作り直したらと思います。人の命に係ることなので是非横のつながりを都市整備課をお願いします。また、いろいろな制度の周知方法も検討願います。 ・総合的な責任のあり方が明確でないことが感じられ、その部分では改革が必要と思います。 ・今の経済状況では、市有建築物を優先すべきと思う。民間の場合、上限5万円くらいではあまり変わらないと思うので、自己責任に任せの方が良いと思う。診断しただけで改修が行わなければ意味が無い。

※予算事業名中、●印については、時間内で判定に至るまでの議論をされませんでしたので、今回の事業仕分けでは判定しておりません。

23日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-2-(2)	都市整備課	公園管理事業	<p>○君ヶ浜しおさい公園管理経費 ○公園巡回等管理業務経費 ○その他公園関係経費 ●その他都市計画総務経費(自転車等駐車場管理業務)</p>	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人) ・正確に全ての公園についての必要な業務を洗い出した上で、どこまで行政でやり、どこを委託すべきかを見直したうえで、比較できる数字を出して決めるべきだと思います。民間や市民に任せて経済効果のある管理運営をする方法もあると思います。例えば、土地を民間やNPO等に貸し、そこでビジネスやイベントを行って売上げの一部を市に入れてもらう等、資源として活用できると思います。 ・経費節減のための努力を今一度、根本的に見直す必要があると思います。特に、契約の積算根拠や契約方法を見直すことが必要。担当課としての意識が低いと思われる。議論にはならなかったが、住民参加による公園管理について検討すべきであると感じた。 ・しおさい公園の案内所等は、民間、市民と連携して、より内容を高めてほしい。業者、シルバー、保存会、それぞれに委託する根拠が市民に対しても明確になるようにしてほしい。 ・過去の流れのままで、十分な現状と課題(入札方法、協働による管理の方向性等)の把握がなされていない状態で運営されているように見受けられる。特にシルバー人材センターだけを特別扱いして入札を行わないのでは、住民への説明責任が果たせていないと考える。コスト面、サービスの質の面の両方を踏まえた上で、長期的な視点から、契約・委託・協働の対象について再検討すべき。 ・管理の受け皿が3つありますが、全体を通した費用対効果の説明が不十分に思われました。より市民の声を活かした管理のあり方をご検討いただきたいと考えます。 ・管理コストと公園の質の比較をすべき。</p> <p>(市民判定人) ・コストや質など全体をみて比較検討できればと思います。公園保存会も、実際は高齢者が中心で若い方の参加が少なく続けることも難しくなることも考えられるので、いろいろな方法を比較検討する必要があると思います。 ・公園(設備)や遊具類等の管理責任のあり方が疑問です。 ・君ヶ浜しおさい公園は、自然を眺めながら休憩するには特に不便ないと思います。観光客向けにもっと工夫する余地はあると思いますが、市の財政状況を考えるとそんなことをやる必要は全くない。もし、もっとお金をかけられるなら、自然の再生や維持をしていくこと、観光客にマナーよく使ってもらうための啓発などに使った方が良く思います。自然の美しさを大切にしたいので遊具などの設置は反対です。 ・シルバー人材への管理内容、料金をもっと検討する必要があるのではないかと。各町内、市民が協力する方向にもっていけば、公園に対する手入れ等ができると思う。 ・公園管理について予算は必要。しかしできること(除草、清掃等..)は、地域(町内)の方、ボランティアの方に呼びかけ(広報・町内会・学校の子どもたち等)できないか。</p>

※予算事業名中、●印については、時間内で判定に至るまでの議論をされませんでしたので、今回の事業仕分けでは判定していません。

23日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-2-(3)	都市整備課	都市公園安全安心対策緊急総合整備事業(防災・安全交付金事業)	○都市公園安全安心対策緊急総合整備経費(防災・安全交付金事業)	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具等の改修が必要なことは分かりますが、投資するためには、ニーズの把握と効果の予測等を行った上での判断が必要です。市民の声をキチンと取り入れ、一番安くニーズを満たせる方法を幅広く検討すべきだと思います。補助金が出るから3千万円というのは、財政が厳しい中で大きすぎる金額だと思います。 ・市民のニーズが入っているか疑問。住民参加の公園にするためには市民の声をしっかり入れるべき。また、補助金に頼る施設整備は、今の銚子市にとっては危険だと思われる。 ・市民ともっと知恵を出し合う場を作って再検討した方が良いのではないかと一度凍結して見直してほしい。 ・国の補助金が出るから整備を進めるというのではなく、住民を巻き込んで、住民と一緒に遊具をどのようにすれば満足度が高まるかを考えて計画を整備していくべき。現在、作成中の計画の中に市民に入ってもらい、本当に必要なものを考えるべき。 ・安全対策は確かに必要、重要です。しかし、市民の声を十分反映し合意形成を行った上で行ってほしい事業です。1,500万円(市負担)以内でも、市民満足の可能性はあるのではと考えます。 ・他市にあるから同じものを作るという考えは改めた方が良いでしょう。3千万円にこだわる必要はない。 <p>(市民判大人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設を老朽化させたまま放っておくのはよくないと思うので整備することには賛成ですが、市民の意見や要望をキチンと正確に把握するためのアンケートなどの裏付けがもう少し明確にあるとよい。整備の内容についても、もう少し工夫してコストを下げる如果能够できればその方が良いでしょう。民間、地域に投げかけることで、要望や工夫など吸い上げることができればその方がいいと思う。ただ、長寿命化のための手立てにコストをかけることは賛成です。そのためには、国の補助等を受けなければ難しいと思います。仕分け人の方の言うように、知恵と工夫だけでは難しいのでは。 ・財政状況が悪いからといって事業をカットするのではなく、これからの世代のためにも子供に夢を与える事業は必要である。遊具の選定については、地域の意見を取り入れて。

23日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-2-(4)	生活環境課	ごみ収集事業	○ごみ収集経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・把握している情報が少ないと思います。財政が厳しい中でごみの量も多いのであれば、いかにごみを減らし、コストも削減できるかを綿密に検討すべきではないでしょうか。また、事業者のごみが多いのであれば、削減をするように働きかけることも継続的に実施するべきと思います。 ・他市の状況などもしっかり調べた上で、積算根拠を明確に説明すべきである。ごみ手数料の値上げも検討すべき。 ・各費用を徹底して見直す必要がある。市民の説明責任を果たせなければ、市民へ一層の協力を求めることはできないと考える。 ・ごみ量が他市と比べて著しく多い現状、財政が厳しい現状がある中で、ごみの減量とコスト削減について、委託業者の選定方法、処理手数料の値上げなども含めて抜本的に見直しを図っていくべき。市民の要望に応じてステーションをやみくもに増やしていくのではなく、十分な説明をして理解を求めていくことも重要。 ・一人あたりのごみ排出量が多く、減量への対策が十分でない。また、委託事業を随意契約する根拠の説明が十分でなく、市民の理解も難しいと感じました。是非、早急な見直しを検討願います。 ・処理費用が高い理由をもっと明確に分析すべき。随意契約で行っている業者への委託内訳も合わせて、説明ができていない。45Qはやめるべき。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの細分化(資源ごみ分別等の徹底)。ごみ袋に名前を付けてはどうか。ごみ袋の値上げを実施してもよいのでは(可燃ごみ)。家庭ごみと事業ごみは区別すべき。 ・データ不足、危機感の不足、説明責任を果たしていない。当初、ごみ袋の値上げをしても良いと思ったが、それも行政改革を徹底した上での話。 ・比較ができ得る資料がない。比較できる資料を出した上で、効率化できるかや、削減できるか判断すべき。

23日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-2-(5)	生活環境課	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業	○住宅用太陽光発電システム設置費補助経費	(2) 国・県・広域	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定価格買取制度の導入で補完できると思うので不用と考えます。 ・この補助金の役割は終わっていると思う。人件費をかけないようやめるべき。このような積み上げにより人員削減が可能になると思う。 ・すでに補助制度の役割は終わっており、県の補助制度自体が不用と考える。市として(県に)廃止を働きかけた方が良い。 ・固定価格買取制度ができたこと、太陽光システムの単価が下がっていることなど、大きく環境が変わっている中で、補助を続けていく必要性はなくなっている。県も含めて補助金は廃止し、一方で、設置促進のメリットを十分説明する広報を強化していくべきと考える。 ・市の事業としては、今年度で終わり。補助の役割は電力買取制度ができたため、県の補助も含めて見直しすべきと思います。 ・県としてもこの補助事業を止めるべき。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市として事業を行う必要はないのではないかと思います。県等で実施し、市役所等での広報のみにすればよいのではないかと。 ・市が手続き窓口をすれば経費(人件費等)がかかる。

23日【第2会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-2-(6)	生活環境課	公衆便所管理事業	○公衆便所管理経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内での連携をきちんと行い、そもそもの存在意義から見直すという問題提起に対処してください。本事業の事業シートは素晴らしい自己評価が記載されていると思いました。他のシートには見られない、担当者の方の想いが伝わってきます。是非、皆さんが、この新人担当の方のように、自分ごととして真剣に考えて改善方法を全庁的に検討してほしいと思います。 ・是非横断的な議論を続け、トイレの総数を整理した方が良いと思います。よい分析をされていると感じました。観光系のトイレと住民利用系のトイレは考えを別にする必要もあるかと思いません。 ・どのトイレを存続させるのか、廃止するのかをゼロベースで検討していただきたい。観光拠点を含め、存続させるトイレに予算を集中させて管理レベルを上げることが大切だと考える。 ・エリアごとのトイレの需要がどれくらいあるかを十分把握した上で、統廃合を検討すべき。縦割りではなく、関連部署が連携して議論し、廃止するトイレは廃止し、必要なところは重点的に清掃するなど、選択と集中を進めていく必要がある。 ・問題意識はあることが分かりました。現状の課題を解消するためにも、是非、市内での検討会で統廃合を含めて問題を共有化した上で解決方法を検討してください。 ・市内での調整を行い、統廃合を含めて議論すべき。所管課ではなく、生活環境課でイニシアティブをとってほしい。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のお店等に協力を依頼して(トイレの開放)は。観光客の来店にもつながるのでは。公衆便所は必要不可欠(清潔設置)。使用頻度の少ないところは廃止すべき。 ・使用頻度等の実態調査を行い、設置や清掃回数等を検討してほしい。お金が無いからで終わりにせず、知恵を出し合っていきたい(市民も合わせて)。 ・活用が無く、老朽化しているトイレは廃止すべき。観光利用トイレは強化して管理。 ・事業体制を見直し各課対応とする場合は委託料の高騰をしないように。きれいなトイレを目指すには経費の増加はいたしかたない。

23日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-3-(1)	生活環境課	不法投棄等対策関係事業	<ul style="list-style-type: none"> ○地域環境保全活動団体支援経費 ○環境監視員設置経費 ○不法投棄監視カメラ設置経費 	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標、全体の中での市の役割が判然としない。 ・行政が行うべきは、ターゲットを分析し有効な手段を考えることである。政策を考えることに人的資源配分して欲しい。市、県、住民の役割とその効果が見えてこない。広域化と警察との連携必要。市民ボラ拡充させる。 ・まずは県データ・近隣地域等も含め(経年的変化も)数字の把握を行い、どの方法がもっとも効果的な手段なのかを検討し、警察、県、民間との連携で統合的な対策を作り直す必要(ゼロベースから)。 ・有効な不法投棄対策の実証効果を精査の上、対策の優先順位を決めるべき。 ・不法投棄対策は必要である。ボランティアの団体を育成していくことや地域活動や教育などからしたたかに活動を続けていくべきである。警察OBとの協働は必要であると思うが、様々な連携を考えていく必要がある。小学校のポスターや中学校、高校の活動にも連携して取り組んでいく必要がある。工夫をしながら是非頑張っていたきたい。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄減少等に対する市が行っている活動状況が見えない。自分達は良くやっている意識が強く、また実行に当たった費用対効果いわゆるコスト意識が無い。もっと頭を使って、市民を巻き込んだ対策を考えないと不法投棄の減少(ゼロ化)は図れない。 ・税の支出はしないで、町民、住民の自主的パトロールを継続してもらおう。資料から判断して、ここ数年0件であり警官OB等の嘱託員を採用せず税金投入を止めてください。 ・抑止力にはなっていると思うが、一度見直すべき。市境の関係があるので広域でやるべき。もっと国、県にアピールを。 ・市内様々な場所に家電ゴミ等多く、不快に思う事が多い。一部だけでなく市内全体に効果が出るような対策を考えてお金を使っていたきたい。 ・現時点で不法投棄は減ってきているので事業を縮小し、将来また被害が増えてきたら活動を拡大すべき。

23日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-3-(2)	生活環境課	市民環境活動推進事業	○市民環境活動推進経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業の結果、成果がわからない。まず、それを明示したうえでゼロベースで見直しすべきであろう。 ・補助基準が不明。採択基準、金額根拠、効果検証などが明確に示されない。このまま支出し続けるのは環境保全に資する活動に培っているのかわからない。時限で行うべき。3年で終了し自主活動していくなど。終了までのロードマップを考えるべき。 ・この事業の目的に従った補助戦略を明確にし、効果測定や団体の財務状況を含む採択基準を作り直してから再開するなら再開すべき。いまのままでは単にお金をバラまいているだけになっている。 ・環境基本条例、上位計画に沿っての具体的な活動方針を明確にすることが先決。 ・9割の補助は考え直さなければならない。環境団体のみでは全体に広がらない。目的と効果について再度検討してほしい。ゼロベースで見直し、再構築すると事業としてはとても必要かつ重要な事業である。やり方で十分改善できる。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体選定基準・方法が不明。 ・内容が別事業と重なっている。補助金がなければ継続できない活動なら考え直した方が良いのでは。市民に広く知らせるべき。知らない人は損をしているように感じる。 ・地球温暖化防止活動に銚子市からの補助金というのは全く持って不要と考える。 ・各団体の活動状況、成果の把握をして市民に知らせるべき。 ・制度を厳格化し、活動回数、参加者人数の報告書を必ず提出し、結果報告を要求すべき。

23日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-3-(3)	生活環境課	犬、猫等死体収集事業	○犬、猫等死体収集経費	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどが道路上の死体であることから道路の保安全管理の一環として行うべきではないか。 ・収集の抜本的見直し。道路管理者が行う。委託しない。道路管理部門、ごみ収集部門が直営で実施する。 ・事業自体は必要ではあるが、コストの面からは契約の仕方、役割分担、頭数の抑制などについては、まだまだ工夫の余地はある。ゼロベースで考えたら外注しなくてもよい。 ・原因者負担で処理する原則の再確認のもと対応方法を根本から見直す必要あり。市の現状を直視すべき。 ・単価が高すぎる。どこの地域でも行っていることなので、他地域の手法を考えるべきである。委託ならば契約の入札を検討すべきである。他の収集方法についてゴミの収集などと合わせる等工夫が必要である。ゼロベースで見直しを行う必要がある。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道、県道に係るものもあり、全体的な見直し必要。 ・契約内容を検討すること。 ・猫は特に野良猫をふやさない。 ・1体7,000円使っているのは良くない。

23日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-3-(4)	高齢者福祉課	高齢者介護等支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活用具給付経費 ○ねたきり高齢者理容・美容サービス経費 ○在宅高齢者等軽度生活援助経費 ○緊急通報体制等整備経費 ○重度要介護者居宅サービス利用支援経費 ○訪問介護等利用者負担額助成経費 	(3) 銚子市 (要改善)	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過剰な支援体制になっているのではないかと。もう少し利用者・受益者負担を求めてもよい。サービス内容を縮減することも考えられる。 ・ニーズが少ないもの、役割が終了したもの①② 費用負担適切に、委託先変更、市民が担うように③ 費用負担を相応に⑤ すべて介護支援の事業をゼロベースで見直すべき。 ・基本的にオーバースペック。利用者負担増、所得制限等を含め抜本的な改革を行うべき。現状のままでは、申請者が増加すればパンクする可能性がある。 ・安易なサービス給付の徹底見直しを。所得制限の導入。受益者負担の原則の徹底を。 ・ゼロベースで見直しを行うべきである。火災報知器と理美容については必要なし。軽度援助は介護予防にならない。また、負担単価が高く、介護保険と同じ考え方で9割を市が負担するのはおかしい。全体的には介護保険制度の枠内で行う事を原則とする必要がある。 <p>(市民判人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理想と現実がかけはなれすぎ。 ・市の担当の方も再検討、見直し、縮小しなければならないことはわかっていると思う。 ・手厚いサービスはありがたいが、ここに至ってはシルバー人材センター等をお願いすべき。 ・財源に余裕がない中で、手厚いサービスは必要ない。全体的に見直してください。制度の隙間でかたづけられるのではなく、新たな基準を設け、本当に必要な方への支援が出来るようにしてください。美容師の設置、生活支援などは赤字会社では当然廃止します。 ・在宅高齢者の業務費は縮減、重度要介護者の支給金は他自治体ではしていない。 ・これから対象者が増えることを思うと内容をしぼり、自己負担できる方には負担していただくべきだと思います。 ・税金投入の大幅な縮減とし、確実な廃止を前提とした見直し。 ・とにかくお金使いすぎ、民間委託で高過ぎ。

23日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-3-5	高齢者福祉課	長寿祝金支給事業	○長寿祝金支給経費	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お祝い金を支給はもう意味が無い。別の形での敬老を考えるべき。 ・祝い金をやめる。その財源は未来のために振り替えていくべき。敬老の意は他の方法で。お金をかけなくても表す方法はたくさんある。 ・お祝いをお金ではなく心で表現する方法に変え、費用は子育て、子どものために使うようにすべき。 ・高齢者の品格と誇りを取り戻すべき。率先して返上する意気込みを。 ・敬老を示す方法はお金を渡す事だけではない。この500万円を10年カットすれば5000万円の財源が確保される。様々な工夫をこらしてコストがかからない方法を考え抜くべきである。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を配ることが本当に喜んでもらえることなのか。もっと別の方法でご高齢者の意を汲みながら、敬意を表す形に変えれば良いと思う。子どもたちや地域の方々と交流できる場を設定した方が喜んでもらえそうな気がする。教育現場との連携も考えてみてはどうか。寝たきりの方も外出できる策、または自宅でできるお祝いを考えても良い。 ・廃止に向けて勇気をもって市民へ説明を。民生委員の活動の充実へ向ける事も考えてみては。 ・この事業の内訳、その他をきちんと説明すれば、他のこれからの世代のことに予算を回した方がいいと誰もがわかると思います。

23日【第3会場】

事業番号	担当課	仕分け事業名	予算事業名	仕分け結論	主な理由、コメント
3-3-(6)	高齢者福祉課	シルバー人材センター補助事業	○シルバー人材センター経費	(1) 不要・凍結	<p>(仕分け人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの自立的経営は十分可能ではないか。 ・自立のインセンティブが働く仕組みになっていない。業種拡大すべき。市として補助を行う素地として財務諸表の関与も全くできていない、現状の関わり方が無責任である。財務状況をきちんと把握してから補助金額を再考すべき。 ・補助金を出さなくてもよいスキーム、経営体制を構築すべき。現在のやり方では補助金が減少することにはならない。財務状況をきっちり把握し経営改善を図る。株式会社化も視野に入れる。 ・経営体としての自立を目指すべき。自己責任で運営できる体質に。多様な人材の宝庫であるとの認識を。 ・公金を入れる必要があるのか。自立経営を目指すためには自力で経営できる方法を考える必要がある。 <p>(市民判定人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立でもいけるような市からのバックアップもできるのではないか。 ・補助金分を発注に回せないのか。市が直接高齢者就業を考える。 ・赤字経営なれば、B/S、P/Sシートのしっかりとした数字計算が必要だと思う。底辺から立て直すことが必要です。 ・非常勤役員を減らすなどして補助金をカットすべきだと思う。市の補助金を減らすと国から貰えないという気持ちは捨て無駄な浪費をカットすべき。 ・現在の高齢者(年金生活者)は、収入が目的ではなく、健康でいつまでも働きたいという方が多い。現在の仕組みでは一生懸命に働かない。税金投入はしない。 ・もっと市から口出しをした方がよい。税金を投入している以上。もっと色々な情報を明確にし、改善してもらおうよう努力をすべき。今すぐ止められないため縮減を提示していく方向が良いのでは。 ・役員給料が多すぎ。民間の役員と同じくらいなのは。 ・目的が形骸化していないか疑問を感じるので、実態を調査し改善してほしい。 ・会員数277人はまだまだ少ない。仕事内容を多様化し、高齢者の活躍の場をもっと増やしてほしい。

別紙 2

市 民 意 見 集

- I 事業仕分けに関する意見
- II 市民判定人に関する意見
- III 市財政・行革に関する意見
- IV 市議会・市議会議員・市職員に関する意見
- V 市立病院に関する意見
- VI その他の意見

※ 本意見集は、平成25年11月8日付けで、無作為抽出の市民約2400名に対し市民判定人の参加を依頼した際、「事業仕分けや銚子市の行政改革の推進、その他の意見」について記載を求めたところ、301名の市民から回答があったものを取りまとめたもので、誤字脱字は訂正を加え、また特定の個人、企業等に関する記述は削除した。

I 事業仕分けに関する意見

1	とても良いことと思います。今、銚子市が大変苦しい現状です。私達市民も大いに参加し、少しでもこれからの銚子市を考えていきたいと思っています。
2	私たちの仕分けした意見等をどのように行政として取り入れたか、市民に周知されることを望みます。
3	パフォーマンスではなく、結果は確実にその後の決定事項にしてほしいです。じゃなければ、仕分けなどする時間の無駄なので。
4	評価結果は公開されるのか。そもそも銚子の未来をお気軽に評価して良いのか。
5	遅すぎましたが良い施策と思います。10数年前に赤字に転落すると言われながら今日まで放置した行政の責任は重大です。特に銚子市立高校の建築、千葉科学大学の誘致に多額を掛け、銚子市の人口が大幅に減少している中で将来の事を考えなかったのでしょうか。さらに市会議員の皆様の活動する姿が市民には見えません。市会議員は日当制にするか、議会の方法を抜本的に改革する(例えば、区長などに委任し、議員を廃止)事を是非進めて頂きたいと思っています。
6	いろいろな形で市政に参加できることはよいことだと思います。住民税も安くはないですから。
7	今、銚子市が直面している財政問題を解決するためには「事業仕分け」は必要です。銚子市行財政改革審議会の討論を聞いて、今何が必要なのか、必要でないのか見極めたいと思います。判断基準は市民の利益だと考えます。
8	市民に見える、わかりやすい説明をお願いします。
9	事業仕分けについては、参加してみないと結論が出せないが、意見評価が反映されなければ困ります。市会議員と市職員の数が人口(減少傾向)に比例していないと思う。第二の夕張と言われている現状だが、市全体ではどうも危機感にバラツキを感じます。
10	市政に参加できる制度があることは良いことだと思います。この仕分けに関して、私の周囲にいる人々は非常に関心が高く、「是非参加したい」という声もありました。どんどんこういう機会を色々な人に提供できれば理想だと思います。
11	行政改革は市民の声が必要です。改革の推進には、多くの市民の声が重要であり、このような取組みは重要であると考えます。
12	銚子市が財政破たんになることのないよう、市民の一人として心配しています。「事業仕分け」という用語は、民主党の行ったパフォーマンスで高圧的仕分け人のイメージがあるので「事業改革」「事業改善計画」等の名称にしてはいかがか。市民判定人の役割がいまひとつはっきりしない。事前説明会で改めて伝えてほしい。
13	仕分け人がいるのに判定人の意見が反映されるのですか。その後、議論、評価する場に市民が参加できるのでしょうか。傍聴するのみで市民へ説明したことにならないか。実績・効果も知らせて頂いたほうが参加しやすいと考えます。
14	参加し、事業仕分け・行政改革の一覧表を見て真剣に考えていきたいと思っています。事前の研修会の日程を早く知らせてください。2日のうち1日選べるようにしてほしい。
15	苦境に立たされている銚子の為に、ご努力されている方々に感謝致しております。市民・職員の意識改革を図る事が目的の一つにあげられた事業仕分け、行政改革の推進を図る事、大いに賛成です。今後も透明・公正な市政をお願い致します。
16	これまで市が行う新しい事業等について、見えない事が多かった。事業仕分け制度等により、一般市民の声を聞いて頂けることはありがたいことである。市に関する情報がオープンに流れることは大事である。特に今回は、多額の赤字に驚きである。未利用市有土地の売却賛成。はやく売却できるといいですね。
17	今回、事業仕分けの市民判定人の候補者となり、ひとつ質問です。事業仕分け人とは主にどういう人になるのでしょうか？

18	今回の事業仕分けも必要だと思いますが、長期に渡る銚子としてのあり方を見すえて行く事も必要だと思います。これからは観光銚子だけではやっていけないと思います。気候温暖な地の利を生かした福祉の町づくり等、目先を変える事も考えていったらと思います。
19	この通知が届くまで事業仕分けを実施することを知りませんでした。知らない市民も多いのではないのでしょうか。市のイベント等をもっと市民に知らせるしくみを作った方がいいと思います。今、携帯にはいろいろな会社の情報がメールとして送られてきます。登録した市民への情報発信制度が必要ではないかと思います。
20	都合により23日しか参加できませんが、微力ながら銚子の為に協力したいと思います。財政困難の折、当日の昼食は持参致しますので、お気遣い無用に願います。
21	こういうことに参加するのは初めてですが、市の財政破綻ということにならないようにしてほしいです。
22	市民として出来る事は協力させていただきます。市民判定人の評価シートがどう生かされるかの説明をお願いします。
23	今回選ばれたので、周りの人々(知り合い等)に意見を聞いてみました。 ①なぜ、今さら「事業仕分け」ということをするのか。 ②財政困難(?)という中で、こういう事業をするのに、休日手当を職員に支給しなければならないのに、おかしい。 否定的な意見ばかりでしたが、ご参考まで。
24	事業仕分けは市民に直結する事ではないと思います。市民に直結する問題を扱って頂きたいと思いました。 例・市立病院・・・24時間行える様にしてもらいたい。内科、外科、脳外科等は市で行い、他は、銚子の医師に部屋や器具を貸し、独立採算制にする。 ・ウオーキングコースを作ってもらいたい。・・・渡船場よりシャッター通り(銀座通り)の道路をむすび、スウィーツの店、お茶の店、雑貨の店等を作る(1人で歩いていると不用心です)。 ・国民宿舎・・・銚子は三方海に囲まれているが泳ぐ所がない。温水プールが欲しい。リンゴの木ではないですが、オーナーを募り、回数券を渡す。 ・買物・・・小さな商店が次々とやめてしまうので不便を感じる人もいます。各町内会で場所を決め、買えるようには出来ませんか。現実ではどうか?と私もそこまでわかりませんが、案を書きました。他の人も回覧板等で案を募集してはどうでしょうか?
25	自分の住む市の行政の事がまったく分からないので、今回参加してしっかり考えたいと思いました。
26	一日の議論だけで事業の必要性を判断するのはなかなか難しいことだと思う。事業仕分けだけでなく、日常においても事業の必要性を考えていただきたい。
27	単なるパフォーマンスで終わらせずに、事業仕分けすると決まったことについては、ちゃんと改革をして効率化を進めてほしい。
28	その事業が将来的に市に利益をもたらしてくれるかどうかをしっかりと見極めたいと思います。
29	今回の事業仕分けは、ぜひ、全過程を録音(録画)してください。
30	3日間については、市の職員、仕分け人、判定人は、皆、手弁当でやるべき、それが行革の第一歩と思います。
31	情報の提供、現案提示をお願いします。銚子市の発展のため喜んで参加させていただきます。
32	市民生活に大きく影響を及ぼさないことを旨に、不用、不急のものを絞り込むことの必要性を感じています。危機意識を持って、執行して欲しいと願っております。市民一人ひとりの意識の変容も重要なことと感じております。
33	参加してみないとわからない。
34	内容について時間内に判定しなければならないのでしょうか。

35	自分が知らない分野を仕分けするのは難しいと思います。しかし、市民としてこのような仕分けに参加できることは有意義に感じます。
36	一度参加をして内容を把握したいと思います。今のところ意見等はありません。
37	医療関係に従事していますので、病院事業および福祉事業の仕分けがありましたら、その日とその会場に割り当てていただくことを希望します。
38	銚子市の財政状況については、新聞、広報等で把握しておりますが、実際のところ中身についてはよくわかっておりません。今回このような機会を与えられるという事なので、事業を進めていく上での優先順位について真剣に考えたいと思います。
39	銚子に住んでいても、色々な事が良くわかっていないと思います。住んでいる所を知る為に参加できれば良いと思います。
40	以前、民主政権の時の事業仕分けの様子をテレビで見っていました。規模は違えど、銚子市でもそのような事が行われるということに興味があります。しかし、その一端を担うとなると、軽い気持ちで市民判定人として参加して大丈夫だろうかという思いがあります。
41	銚子市の財政が厳しいと言われておりますので、現状を知り、改革のお手伝いができればと思います。
42	今後も(事業仕分けを)続けることを期待します。出来れば年2回位で。
43	市が行っている事業・行政サービスを知る上でも、とてもいい事だと思います。
44	事業仕分けは個人的には賛成です。判定人に市民が入ることも賛成です。
45	市民のためにありがとうございます。とてもすばらしいと思いました。
46	最近パブリックコメント等、行政が住民の意見を尊重することが大切とされていますが、ある意味「全体がよく分からない、いわば素人の意見」です。行政側が、そのバランスをとって、賢明な見直しをしてくださることを祈念いたします。よろしく願いいたします。
47	とても良い案です。市民が判定できる、声が届くのは画期的です。改革の推進頑張って下さい。期待しております。
48	銚子のために何かを新しく始めようというのは大変良い事と思いますが、私のようにただ住んでいるだけで、無知でこの事に対し、正直それどころではない人間が無作為に選ばれてしまうというやり方はどうなのでしょう。 何が何でもこの会に出席したい、興味があるといった方を公募した方がよほど内容の濃い物になるのではないですか？それともこの判定人とは銚子市民がとりあえず居さえすれば後は適当にこっちで話し合いますからって位置なのですか？まずそこから考えてほしかったです。 で、事業仕分けは今回が初めてですか？大分昔に政治家がTVで公の事業仕分けをして話題になってからも銚子ではしてこなかったのでしょうか。銚子が財政難に陥っているのはずっとずっと前からですよ。今更って気もするし仕分けられなきゃ自分たちの無駄遣いに気付かないっていうのもね。
49	どうしてこの年末のせわしない時にこのような事をするのかわかりません。時期を考えていただければ参加する人もいるのでは？
50	今回のような計画、実施については賛成です。一人でも多くの市民が市政に関心を持ち、理解できるよい機会だと思います。今後も計画的にお願い致します。
51	事業仕分けに関わる皆様のご苦勞に感謝しております。ありがとうございます。 病気や高齢のために経済的に大変な生活をしている人もいます。また、高齢のために働きたくても働けない人もいます。弱者が生活困難者になることのないようにお願いします。
52	行政改革は賛成です。土日仕事の人もありますので、平日にしたら参加人数も増えるのではないかと思います。
53	無駄使いなく、有効に仕分け願います。

54	興味なし。
55	事業仕分けにより、ムダや高い契約や物を利用していたりするのを知り、改善するのはよいと思います。また、市民の要望をタイムリーに行っていたらよいと思います。
56	参加するみなさんの時間が無駄にならぬようにしてほしいです。やってもやらなくても同じ、と言う事にならないでほしいです。
57	事業仕分けがなにかのポーズにならないように取り組んで欲しい。 土日祝の日程は、あくまでお勤めの方の為に、自営業のことは考えていないのでは？ 3日間という短い期間ではなく、一週間位の余裕を見た方がよいと思いました。
58	参加するにあたり、1日という貴重な時間をわざわざ事業仕分けの為に費やすのはどうかと思う。もっと別の方法はないのか？
59	公開の場で、我々市民が客観的な評価を行うというこの機会は、とてもよいことだと思います。
60	銚子市事業仕分けにより、健全で効率的な行政サービスが提供される事を望みます。宜しくお願い致します。
61	行政サービスの整理との事ですが、公平にするのはむずかしいと思います。そのサービスがどのような事で始まったのか？とか参加すれば説明と質疑応答でわかる様になって判定できると思います。延べ225人という少数の意見です。事業に対する市民への説明責任の徹底にはならないと思います。地域ごとに集会して説明し意見を求めるのはどうですか？集会のスケジュールと仕分け内容をホームページでも良いですが、プリントしてお知らせするのも必要かと思えます。 新聞に銚子も数年で破たん？と書かれてました。一般の会社では倒産です。その為、雇用保険を払い当座の生活費がもらえる様にしています。役所は給与、ボーナス、期末手当も保障されて市民のサービスは止まるのですか？
62	議論、評価のパフォーマンスに終わらず、行政改革にしっかり役立てましょう。
63	ムダをなくす事業仕分けをしてほしいと思います。
64	よりよい銚子に向けての前向きな取組みに期待しています。
65	外部の視点による客観的な評価を行うことは良い方向性に市職員と一般市民が意識改革向上になっていくとおもわれます。
66	事業仕分けをすることで重複していたものも分かるし、無駄だったことも分かると思います。役所も縦のつながりだけでなく、横のつながりもやるといいのかなと思います。市職員、議員の先生方、市民が皆でがんばれば赤字も少しは解消されると思います。
67	行政改革の推進を図るため事業仕分けを行う事は、とても良い事であると思いました。
68	民主党の事業仕分けも単なるパフォーマンスで終わってしまいました。仕分けで不要な事業と決定されたならば、その事業を具体的に廃止して予算を割り当てない様にしなければ、この制度も単なるパフォーマンスでしかありません。
69	市民参加の仕分けはよいと思います。今までの銚子市の財政は市民に関係なく使われ、市民税は近隣の市に比べ高く、年々増え不満に思う市民も多いたと思います。
70	どんな事業が議論されるか、ざっくりでも明かされれば興味も、もっとわくのですが。他には謝礼は無くても良いが、市の特産品や企業の試供品を配る等、ちょっとした工夫があれば、市の事をもっと考えるきっかけになるし、お得感も味わえて嬉しい。
71	どういう事をするのかが不明で、実態が把握出来ません。行政改革の主旨はわかるけど、どういう事をするのか良くわかりません。
72	一般市民の視点からも色々な事業について判断等、する場がある事は大変良いと思います。
73	市民の声を聞いていただける良い機会だと思います。

74	実際に市民が仕分けする(意見する)事も必要だと思う。市民が望む様に反映されるなら良い事だと思います。それが反映されているのか、どうか？分かったら良いと思います。
75	事業の必要性などを市民の目線で評価することは、とても大事なことだと思います。ぜひ複数年実施して頂きたいと思います。
76	銚子の将来の為に無駄を無くし、より良い生活がおくれるようになって欲しいです。市民の為になるようにして頂きたいです。
77	都合により参加できませんが、討議された内容については市民へ開示いただきますようお願いしたいです。
78	事業仕分けについては有意義な事だと思う。銚子の行政は何をやっても今一という思いがある。観光なのか商工業なのか、一番に何を考えているのかわからない。もっと銚子の活性化につながるものにしてもらいたい。
79	「事業仕分け」とても大事な事だと思います。結果は広報で見させていただきます。
80	関心はあるのですが、忙しい時期に重なり参加できません。別の形で協力させていただきたいと思えます。新市長をむかえて何か変わってくれるのではないかと期待しております。
81	銚子市の財政等を良く見直し、無駄な経費を削減して市が破綻しないで済むよう、皆さんで事業仕分けを頑張ってください。今回は参加できませんが、一市民として願っています。
82	主婦には年末の忙しい時期ですので参加できません。事業仕分けによって決まったことがきちんと遂行されるようにすることが大事だと思います。
83	できるなら参加したかったのですが、約8時間の拘束に無給では腰が上がりません。こちらにも生活がありますので・・・。「行政は、市民の意見も反映する場を用いて財政問題に取り組んでいます」的な、いわゆる会報向けのパフォーマンスにならないよう願っております。一市民として。
84	そもそも選定とは何なのでしょう？
85	市が行っている事業について「そもそも必要なのか」「これが最適なやり方なのか」とありますが、行政サービスとは、例(海辺のゴミ、公園の清掃、道路の草、七ツ池の掃除、その他)の事か、それに関しない別の事なのかわからない。現在、年金では生活がぎりぎり職業(雇用)で生活が成るので、事業仕分けに余裕があるかわかりません。
86	以前、国政の民主党が行った事業仕分けと同じ事をしていましたね。当時の国の結果はどうでしたか。パフォーマンスで終わっていますね。構想日本も民主党に仕分事業で加担していました。金がないのに部外で依頼すれば費用がかかります。市長はわかっているのですかね。何故、内部(市職員又有識者)の市民を活用して行わないのですか。他の自治体もやっていますが、金のかからないやり方が多いです。自助努力でやっております。市長は「対話」と言っておりますが、市民と現場(公以外)で話し合いがありませんね。2年足らずで何もしなければ夕張と同じになります。最初にやるのは市民意識改革ではないでしょうか。市全体の危機的意識がありません。これも長たる者が過去の総括をしないで過去の結果を公表しないからこのような市民意識になっています。
87	事業仕分けについて賛成しております。500億円以上の借入金マイナスの部分はどう減らしていくか。市民も一緒となり、未来の銚子市、一歩でも向上できるよう一市民として考えていきたいと思えます。できることから「やる」賛成です。
88	この事業仕分けの企画には大賛成です。今後とも継続していただき、良い銚子を目指してください。
89	事業仕分けを市民に判定させていただくこと大賛成で、とても参加したいのですが、勤務先が小売業のためクリスマス前の連休にはどうしても休みは取れません。同じような理由の方は多いと思えます。次回はご一考をお願いしたいと思います。
90	今回の市民参加の事業仕分けは大変良い企画と思えます。皆様の英知で効果の期待できる改革をお願い申し上げます。
91	具体的にどんな事業があるのか、仕分け人にどんな人がいるのか説明したほうがいい。
92	土木、水道、農産その他、工事優先が間違っているのが多いと思う。事業仕分け良いと思えます。

93	無駄と思われる事は思い切って省いてゆくことを望みます。
94	本当に公平で最適で健全な事業仕分けならば評価します。
95	行政改革としての事業仕分けはとても良い方法だと思います。私も含め、家族が市役所に勤めている友人でさえ、仕分けについて知らなかったようです。改革を市民に周知することで皆が前向きになれるのではないかと思います。市民参加型が良いと思います。
96	銚子は大好きな街ですが、学んだり働く所がないので離れることとなります(現在、大学で学んでいます)。事業仕分け、未来のある子供たち、今まで頑張ってきた先輩方に優しいものになるといいです。
97	必要な資金もあると思います。事業仕分けよろしくお願ひします。人口流出によって高齢化が進んでいます。子供たちが残って働ける環境があれば良いなと思います。
98	ムダなものがないように仕分けしてもらいたいです。
99	銚子市が破綻しないように仕分けをお願いします。
100	興味深いお話でしたが、年末ということと、子供の預け先の確保が未定でしたので不参加にしました。
101	「事業仕分け」そんなに必要なことですか？市の仕事の全部はわかりかねますが、少ない予算の中で大変だと思います。これからも市民のために頑張ってください！
102	銚子市を変えるという意味では、不要事業廃止は良い事だと思います。余ったお金を銚子市の活性化に役立てていただきたいです。
103	将来の銚子市のあるべき姿について、活発に議論していただきたいと思います。10年先、20年先を見据え、子供達が希望を持てる地域となることを強く希望しております。
104	有識者を幅広く選定され、ご検討された方が、実行性が上がるのではないかと考えます。
105	事業仕分けの日程については、複数月で開催、または半日等の選択肢があるとうれしいです。市議会議員や市役所の職員数の削減を希望します。人口減少がある中で、現在の定数が正しいか検証はされているのでしょうか。特に市議会議員の業務に関しては、個人の仕事のあり方が明確ではない印象を受けます。視察に出るのは結構だとは思いますが、全員で行く必要があるのか。情報の共有できるものはそのように対応する。それをどこの事業で生かすのか検証とかも必要になるのではないかと思います。報酬の検討もしてほしいと思います。銚子市立病院のあり方について、入院施設については病床稼働はどれくらい(何%位)なのか？病院機能も生かしつつ介護事業等の展開も検討すべきかと思ひます。銚子市の高齢化を考えると介護関連を充足させていただきたいと思ひます。
106	事業仕分けは定期的に行った方が良いと思ひます。
107	市が良くなる為ならこのような活動を増やして欲しい。
108	事業仕分けの内容と予定を明確にして欲しい。
109	市で関わっている事業そのものの理解ができておらず、お役に立てると思ひません。市での活動、行政の内容を事前にわかるよう、誰もがわかりやすくした方が好ましいと思ひます。
110	一般の市民の声として意見が参考にできることは大変いいことだと存じます。
111	「事業仕分け」時々耳にする言葉ですが、気にも留めることなく、市の台所等知る機会もないまま本市に43年住んでおります。少しの節約、知恵を結集して本市を望み多き町として、また、行政改革が掛け声倒れにならないように、市民の一人として勉強させていただきたいが、用事があり参加できません。

112	ずばり言って金を掛ける処がおかしい。もっと専門家の意見を聴いて、必要な処、そうではない処を判断為されると宜しいかと思ひます。それには、本当に其の道に精通したプロの話を良く理解出来る体制を整えるべきではないでしょうか。今の状態では無理なような気がします。課を超えて話し合いが出来る様にならないとダメでしょ。本当に行革をして市の事を思うのであれば、職員一人一人がもっと真剣になるのではないのでしょうか？本当に財政危機のように見えないのですが。
113	市役所のお仕事をオープンにして、少しでも市民に公にする為のものと考えていいのでしょうか？年末の差し迫った時だと、誰もが忙しくて、時間が取りづらいので、違う時期でしたら参加してみたかったと思ひます。
114	行政の内容について、広く市民に知らしめるのは必要。この事業仕分けについても、その内容、結果を細かく市民に報告してほしい。
115	年末の忙しい時期ではなく、違う時期にしてほしかった。国の行った事業仕分けは成果があったとは思えないが、今回、市で実施するので、仕分けがきちんと反映されるようにして頂きたいです。
116	今回の判定人として参加したかったのですが、12月のスケジュールが仕事で参加できなくて大変残念です。市民が参加できるこのような行政改革、今の銚子市には(第2の〇〇〇)にならない様に、ぜひ整理してください。多々有ると思っております。
117	学校の統廃合が行われていますが、いまだに第4中の校舎が解体されずにあることや、実家の眼前の市営道路が数年がかりで整備されることなど、財政の困難さはよくわかります。市民に広く知恵を求めるこのような方策、良い事と思ひます。推進して、少しでも銚子の発展につなげていけたらと願うばかりです。
118	大変申し訳ありませんが、今回は辞退させていただきます。銚子市の未来のため、事業の精選はとても重要であり、市民とともに考えていただけることをありがたく思ひます。

Ⅱ 市民判定人に関する意見

1	巷では、銚子市は財政破綻し第二の夕張市になるのではと囁かれています。今回、市民判定人の候補者に選ばれ、希望と責任を感じます。
2	「市民判定人」は責任のある仕事ですので、研修会で学びたいと思います。
3	無作為抽出との事ですが、全く分からない人も当然いるかと思えます。私達が選んだ市議会の方に任せるのですから、それで良いと判断します。がんばってほしいと思います。
4	無駄なものを削除していくのは、とてもいい事というよりやらなければいけないことだと思います。(今回、仕事の関係で参加できませんが、次回からは、午前中だけでも、フレキシブルに参加できるように検討してください。)
5	市の行政に精通していない者が無責任に仕分けはできない。短時間の事前研修等では無理ではないか。事業仕分けそのものは必要と思います。
6	立場、立場で色々あると思われませんが、議論された内容でご回答していきたいと思います。
7	興味はありますが、一日拘束はどうも・・・。
8	一日中参加となると大変なので、半日単位(午前と午後)になれば参加しやすいと思います。
9	無作為で選ばれても、職業柄、時間が不規則で参加できません。また、一般市民がこのような事業仕分けの判定人とかに参加するのかなと、正直、ちょっと理解できません。
10	事業仕分けの取組みについては、興味もあり、おもしろそうだと考えますが、年末の忙しい時期に何日も都合をつけるのは、正直難しいです。ただ、市の厳しい現状などを変えていきたいとは考えますので、何かあれば協力していきたいと考えます。
11	市民の意見を聞くことは良いことです。ケーブルテレビ他メディア等を使って市の状況を多くの市民に知らせてほしいと思います。
12	行政改革などに興味のある若い方たちの意見を聞いたりするには、無作為での選出はいかがなものでしょうか？もっと積極的な参加を呼びかけた方が良いのでは？
13	微力ではありますが、銚子市のお役に立ちたいと思います。
14	半日だったら参加できた。
15	「市民判定人」は、仕分け内容の資料配布だけではなく、財政力指数や人口推移など、行財政改革を総合的に判断できる知識を持って仕分けに臨んでもらいたいと思います。素人が評論家気分で判定を下すことがないように、充実した「事業仕分け」になるよう期待しています。
16	銚子の未来に危機を感じています。市民判定人に選ばれ驚きましたが、銚子市の事を考えるようになりました。
17	半日とかなら出席可能な日がありました。午前、午後に分かれれば、お弁当も出さず、茶の1杯で済むと思うのですが。
18	判定人として参加する者には何を求めているのか、事前に「～について」とお知らせくださった方が有意義な時間を過ごせるのではないかと思います(事前学習)。
19	半日単位で参加できれば参加しやすかったかもしれません。

Ⅲ 市財政・行革に関する意見

1	銚子市の財政破たんは回避したい。 議会、市職員の見直しではなく住民目線の予算執行を望む。 銚子市は、神栖市に比べ住民サービスが低いと思う。 市職員、議員、市長には、破たん予備企業の社員だということを理解していただきたい。
2	今回、5%の歳出予算の抑制方針と聞いていますが、既に、銚子市では人件費のカット、歳出予算のカット、事務事業の見直しなどで、歳出カットは限界に達していると思います。 今後、歳出予算の一律の抑制削減は、本来の事業目的である事業効果が薄れ市民サービスの低下を招くものとなります。そこで、大胆に制度、方法を見直し、民間で事業可能なものは民間に委託するなどして、小さな市役所にスリム化する必要があります。それは、今回がチャンスであると考えます。
3	銚子市の財政が何もしなければ6億円の赤字の可能性があると新聞で知り、正直ショックでした。 私達はきちんと税金を納めているのに自分たちの税金の使い道をただただ役所にまかせきりで安心していました。 これを機会にきちんと税金等の使い方を検証したいと思いました。
4	銚子財政は赤字なので、どの部分を削るのかは難しいと思います。これがなければ生活出来ない物を残して、その他は削るぐらいに。 それより入ってくるお金がないので、船橋市のふなっしーみたいな町おこしがあれば、銚子市に40年住んでいるけど、名洗の東電誘致、フェリー誘致など反対してきたので、そのツケがまわってきたのかも。
5	前市長のような行政はやめてほしい。ない財源を市民のために使ってほしい。人口が定着するような地場産業振興策なども推進してほしいです。
6	銚子市破たんの新聞を見た時は、一市民として非常にかっかりしました。 一市民として、市の財政には非常に関心があります。住み良い街づくり、市民生活が安心して送れるよう心から願いつつ何かの形で協力をして行きたいと考えております。
7	消防庁舎の移転、市庁舎の建て替え等、重要事項の進行状況は？ 市職員の給与カットは実行されているようですが、銚子市の人口に対する議員の数は多すぎませんか？ 議題として上がっておりませんか？また、報酬削減の案は出ておりませんか？共に痛みを分かち合える行政であるよう願います。
8	最近よく耳にしますが、市の財政が大変な話です。一般市民には、何がどのように不足なのかよくわかりません。くわしく知りたいと思います。
9	少しでも一市民として銚子市の行政改革について勉強できたらと思い参加させていただきます。
10	市の行政改革を推進し、健全な市政の運営をしていただきたい。
11	銚子市の財政状況は、かなり厳しいものと聞いています。銚子市に生活するものとして、銚子市の将来の為に行政改革を厳正に行なって欲しい。
12	行政改革の内容があまり分からないのもっと広報等で伝えてほしい。事業仕分けでやる、やらないのほかに優先順位を付け、優先度の高い事業と予算を検討する方法もあっていいと思います。
13	市の財政が緊迫状況にあること、また、日増しに市街地の様子が変わっていくことに大変憂慮していました。買い物は銚子市内で・・・などと思っていても一主婦にできることなど微々たるものと空しい思いでした。主人の仕事で県内を転々しましたが、気候に恵まれていること、故に食材が豊かなことなど、とても暮らし易い所だと思います。事業仕分け、行政改革、必要なことだと考えます。銚子市が活性化出来ることを切に望んでいます。

14	<p>行財政改革については、これまでも進められてきたと思いますが、今回は、より多くの市民の考えが反映される一方、市民の行政改革への意識が高まるのではないのでしょうか。</p> <p>銚子の売りは、美しい景観と新鮮な食材ではないかと思えます。ゴミのないきれいなまち、おいしいお店、また来たいと感じてもらえるようなおもてなしの心・・・市民一人ひとりが、今より少しでも意識が高まることによって、銚子にたくさんの人が訪れてくれるようになるといいですね。</p>
15	<p>土地売却等を早急に進め、財政を健全にしてほしい。</p>
16	<p>最近の市の財政が大変厳しいと聞いております。早く健全な状況になるよう願っています。</p>
17	<p>市の人口が年々減少傾向をたどる昨今においては、やはり若い人達が銚子に住んでいたい、また銚子を誇りに思えるような活性化につながる行政改革の推進を望みます。</p>
18	<p>事業仕分け「市民判定人」という制度がある事すら知らなかったもので、こういう制度は良いと思えます。また、こういう機会があれば、行政等も良くなると思うので、このまま続けていただければと思います。</p>
19	<p>外注を極力無くし、自前でする様にすれば幾らかは節約になると思えます。</p>
20	<p>破綻寸前の市に将来は無いと思う。2011震災の時でさえ、市に捨てられた。</p>
21	<p>急に参加・不参加の案内を送られても予定があるので、もう少し早めに送付してもらえたら、1日でも都合はつけられるのかと思います。今後はもっと早めをお願いします。</p>
22	<p>前から市の財政困難が言われているが、少しでも赤字を減らして、若い人達に希望の持てる市政を行ってほしい。</p>
23	<p>会社及び個人もそうですが、収入に合った出費で成り立っています。銚子市が赤字経営になっているのは、人口の減少・高齢化などによる税収入減が大きいのと支出の見直しの甘さだと思います。是非、市職員及び市民代表の市議会議員の皆さんが真剣に取り組んで欲しい事をお願いします。その市議会議員の方々への議員報酬の総額を見直して欲しいです。</p> <p>例えば、市議会議員報酬何%減とかではなく、市の税収入額を連動させるとか！・・・総報酬額に合わせた議員数で良いのでは！また、職員の賞与も税収入額を連動させるとか・・・</p> <p>数年前のことで、銚子テレビのインタビューで、ある市議会議員が報酬額を減らされては困ると言っていました。議員総報酬額に合わせた議員数にすれば報酬額は減らさず、賞与は減らさず、給与は増やせばいいです。是非、事業仕分けを成功させてください。</p>
24	<p>銚子市が一つの事業所と考えるならば、事業所の今後の経営、将来性は、社長及び経営陣が何を優先するかで発展するか倒産かの別れ道になると思う。</p>
25	<p>銚子の人口の増えるような魅力ある行政改革を行ってほしい。</p>
26	<p>銚子市の現在の財政状況等、銚子市民として情報を共有して現状を理解しなければならないと思います。</p>
27	<p>2017年度に財政再建団体に転落するという朝日新聞の報道どおりにならないよう、一丸となって頑張ってください。</p>
28	<p>無駄をなくし、豊かで住みやすい銚子市を願います。</p>
29	<p>銚子のニーズに合わない事業はカットしたいですね。人口が少なくならない方に力を入れたらどうですか。</p>
30	<p>小さい子供のいる我が家にとっても、今後の市の財政を考えると色々心配な事が多いです。より良い銚子市を維持していく為にも行政改革は必要と感じております。</p>
31	<p>財政悪化に対し、行政サービスの低下、住民税の負担増加が将来心配です。現在、市の財政状況を考え、市民の意識向上に積極的に広報活動を推進してほしい。</p>
32	<p>経費削減だけでなく、資金を生み出す改革をするべき。若い世代が住みやすい子育て支援など力を入れてほしい。</p>

33	財政が破綻してしまうとどうなるか、周りの人に聞いてみたら皆わからなかった。夕張を調べてみた。ショックでした。具体的に説明し、皆にしてもらった方が良いのではと思う。また、そうなったら人が流出して、もっと厳しくなっていくのではと思ってしまう。思い切った仕分けが必要だと思えます。
34	市の破たんは絶対に避けてほしいので、しっかりと行政改革を行っていただきたいと思えます。
35	より良い議論を重ね、健全な財政に取り組む銚子市に期待します。
36	科学大や市立病院等の銚子市が抱えている問題について、第二の夕張にならないよう、市長が代わったからこそ、市民一丸となって改革を進めてほしいです。そのためには、銚子市は高齢者にとっては色々な助成、補助があり、優遇されるが、銚子で生まれ育った若者が銚子へ戻ってきたくても、今の銚子では、銚子で結婚、子育てするための魅力が何ひとつありません。少しでも早く若者の働ける場所をつくり、そして若者が働きながら子育てできる環境づくりに力を入れてほしいと思えます。今の状況だと、銚子市の財政が、破綻だけでなく、若者が一人もいない街になってしまうのではないかと不安です。10年、20年後には、今の倍以上、若者が増えるような改革も進めてください。
37	限りある予算の適切な執行をお願いしたいです。
38	銚子の今後を安心して住めるよう、他の市のようなことのないよう、よろしく願いいたします。
39	銚子市は全てにおいて無駄が多いと感じます。
40	銚子市をつぶさないでください。
41	夕張になりませんように。今回参加できませんが、銚子の良い所がもっと世に出て活性化されますように。
42	当年度の危機的状況を回避するには、市長をはじめ議員及び職員給与の一時的削減、各種団体への補助金の一律カット等、考えられることすべてを即行う必要がある。来年度以後は、市役所行政組織の統廃合(部制廃止)、市立銚子高校の定数削減、保育所の統廃合、議員報酬の日当制、市民センターの廃止、ゴミ回収日(プラ、新聞)縮減等々考えられる。 危機的状況にある中で、今の財政状況を広く市民に周知し、市役所の一部の職員の提案にとらわれず、また、経験の無い委員等の意見に固守せず、広く一般市民から意見を求める事も必要と思う。
43	ますますさみしい銚子になりつつあります。観光にもっと力を入れ、行政改革を実施してほしいです。市長も代わったことだし！

IV 市議会・市議会議員・市職員に関する意見

1	毎年、新規に職員を採用していますが、本当に必要な採用なのでしょうか。
2	市職員の減員、減給。 犬吠埼等、観光地の見直し、整備。 銚子駅前の活性化。
3	なぜ、国の方針(給与や報酬の削減)に応じないのか？市長は、市職員や市議会議員の言いなりで、本当に市民や市政を考えていなく、市職員や議員の顔色をうかがっているのではないか。事業仕分けより先に、市職員の給与削減、議員の日当制など、自ら血を流すべきである。また、退職金の削減より給与削減の方が、厚生等で大きな効果があるのでは？
4	お役所仕事と言われないように、まず、職員の意識改革が必要なのでは。
5	市役所の職員の人数の見直し。
6	民間の厳しい現在の所得に比べ、やはり公務員の給料は割高だと思います。まずそこから手をつけるべきではないでしょうか。有給休暇はあっていないような会社勤務に対して、なまぬるい気がしてなりません。
7	市民の数が減少する今、事業仕分けや、以前から耳にする市会議員数や、市役所に行った際に窓口対応の方以外、奥にいる職員の方々の話し声や、中には見て見ぬふりをされる職員の方がいらっしゃるのは相変わらずのお役所気質なのかな・・・と思います。他の市役所の方々の対応とは違いを感じました。事業仕分けもそうですが、見直しの一つと思います。
8	①銚子市職員の給与の大幅な賃下げ。給与が高い。 ②アルバイト職員の採用 ③工場の誘致 ④水産業等地場産業の活性化 ⑤市会議員定数の削減
9	市会議員の削減、魅力ある観光地づくりなど銚子市を活性化するため、やらなければならない事がたくさんあると思います。
10	人口に対しての市会議員の定数はどんなものでしょうか。
11	前から思っていたのですが、人口は少なくなる一方で市会議員の数が多いと思います。給料を税金から渡している。もっと減らしてもらいたいです！！
12	いらぬ議員、遊んでる市職員、へらせ
13	市会議員はこんなにいらぬと思う。
14	事業仕分けも大事かもしれないし、職員の給与削減も仕方のない事かと思いますが、議員の意識改革や経費削減はしないのか？一番の疑問です。
15	人口が減少している中、市会議員の数、報酬等、更に見直すべきではないでしょうか。(近隣市町村に比べても高いのではないのでしょうか。) 自然災害等少なく住みやすい銚子をもっとアピールし、人口が増えるのが一番だとは思いますが。銚子市がよくなること切に願っております。
16	議員の削減、給料の削減を希望します。
17	市議会議員は多すぎると思います。思い切った事業仕分けに期待します。
18	議員の定数を減らすこと(人口が減少しているのに議員の数を減らさないのは)。
19	銚子市も第二の夕張とのことです。銚子市は人口が少ないのに市会議員が多いと思う。市役所の職員も少し減らしても良いと思う。他の市役所の話聞いてみると、銚子は親切さが無いと話している。

20	市会議員の人数を減らすことをお願いします。市立病院は今すぐ止めるべきです。
21	一番は市会議員の定数削減(先ずは5議席減)、二番は上級職の手当減(年功給は現実的でない)、本当に必要なものはなくすな!
22	人口の割に市会議員が多いような感じがします。冬暖かく夏涼しい銚子の町、広報を見るたび人口激減に淋しい思いをしています。銚子市立病院、内科、整形充実してきたと思いますが、他の科も充実してほしい。市立病院ないと困ります。
23	市議会議員の数を減らした方がいいと思います。市役所が夜遅くまで電気が付いていますが、無駄な残業を減らした方がいいと思います。
24	先ず、市会議員の定数減が必要と考えます。
25	市会議員の人数をもう少し減らしても良いのではないかと思います。
26	市議会議員の定数の削減。

V 市立病院に関する意見

1	現在、市の直営施設を最小限にせざるを得ないと思う。赤字ではあるが市立病院は残してほしいが、科は検討して減らしてもよいと思う。色々理由はあると思うが、民間病院に任せられるものは任せて、第二の北海道夕張にならないために頑張してほしい。
2	市立病院の再生に疑問？自分のまわりの人間はほとんどが反対（赤字運営）
3	市立病院の継続を市民の人々によく説明してください。 障がい者の駐車場が少ない。特に図書館、公民館。 下水の悪臭。 町内に外灯が少ない。 道路ミラーがこわれたままで役に立たない。
4	市立病院の緊急入院が早くできるようにしてほしいですね。もっと銚子をアピールして観光に力を入れてほしいですね。
5	市立病院の拡充を願います。
6	市立病院の補助金の見直し。市内の診療所等から見ると看護師等かなり人件費が高額ではないかと思われる。特殊外来の見直し（いびき外来等）。このまま続くと前回と同様になるのでは？人口数に対し、市議の人数が多いのでは？
7	市長公約の市立病院へのバス運用はどうなったのかな？少しでも患者を増やして赤字を減らすことも必要です。10月25日の台風の時、千葉大の海洋研究所の屋根まで海水が上がっていたと近所の方が言っていました。千葉大に、内外に注目されるような研究所の建築をお願いしてみても。常時、研究員が来銚するような、また、バス会社と話し合っルートの変更を担当者に願い出るとか（見直しは必要）。観光客と買物難民対策（半島周遊ルートをつくるとか）。以前も（前市長のとき）提言したのですが、ふるさと納税を大きく集められるように、ともかく色々工夫をすることです。銚子を出た人はたくさん優秀な人がいるのですから、お山や商業の名簿の実家を辿って年賀状の隅にでも、少しでも余裕ができたならふるさと納税をと。
8	市立病院は本当に必要なのでしょうか？維持するのに大変なのでは・・・？
9	市立病院に通院しているものとして存続を希望します。
10	市立病院の件、救急時の対応について不安に思っています。建物だけになっているショッピングセンターはどうなるのでしょうか。

VI その他の意見

1	農業、漁業の盛んな銚子市の豊かさを生かし、食生活の改善から医療費の削減なども考えられたらと思います。
2	高齢者の多い市です。年金で生活していて税金が少ない。少しでも無駄のない税金の使い方を考えることは良いことだと思います。
3	毎年、年末に道路補修を行っているが必要性があるのか？
4	子育て支援のものとして、今現在、予防接種などをして頂いていると思いますが、日時が限定され大変苦労した事を覚えております。できましたら銚子市の指定の病院を何軒か(東部・西部と)セレクトして頂き、前もって無料の券を市役所に頂きにあがる様な試みをしている市を存じております。(旭市)できましたらこの様に多忙な日々を過ごす若い御夫婦達に少しでも手を差し延ばして(共働きがほとんどです。)頂けるとありがたい次第です。自分のペースで子供の病気じゃない月の土曜日にも伺える様になります。尚もう一つ、新生児ができる1年間おむつ券が月3,000円×12か月という市から券を頂け、いずれのお店でもよい様に店名があるところで頂けるそうです。(旭市)老いてゆく私達も大変ですが、今から銚子の未来を背負って行く若者達にも愛のある支援をお願い致します。
5	路線バスの運行を多くしてもらいたい。
6	行事による地域の活性化と密着を促す。
7	若い世代が住んでもよいと思えるような政策を希望します。
8	銚子市が元気になる様希望します。観光の面でも何か目玉になる何かがあるといいですね。
9	銚子市の観光、宣伝にもう少し工夫するとお客を呼べると思う。
10	高速道路を銚子まで作ってほしい。若い人が働く場所が少ない。
11	銚子市の将来展望を含めた様々な議論やスピード感を伴った具体的実践が市民をリードする行政の責務・課題であると考えます。今後数年のうちに明確なベクトルを示さなければ町の未来はありません。50年、100年の計を大局観をもって正に今から始めるべきです。できることは協力いたします。
12	夕張市の例にならない様によろしくお願い致します。民間の会社社長さんなどのアドバイスも良いかと思えます。
13	銚子市の既存の産業が、これからどんな可能性をもって変化、発展していくか考える機会になればいいと思います。自然エネルギー、有機農法、スローフードなどに個人的には興味があります。行政改革が、このような視点も反映されて行われることを望みます。
14	銚子市民として、銚子市の未来が大変心配です。このまま下降し続けてしまうことのないよう、銚子市の将来について考えていきたいです。
15	グーグルで「銚子市」と検索入力すると、予測キーワードに「財政破綻」というのが出てきます。これは、銚子市が危機的状況にあると、検索する前に気づいてしまうものでした。国立大学に通っていますが、文理問わず公務員を目指している友人が周りにたくさんいます。大学では、公務員試験の勉強のみならず、法や経済、総合政策、教育を学んでいるので、学術的な面からも行政改革をサポートできるのではないかと思います。そういった人材を確保し、どんどん仕事してもらうためにも、若い力を銚子市に呼び込むということが必要だと思います。
16	いつの間に、何が原因で銚子市が今のような状態になってしまったのか？行政は何をしていたのか？どうしたいのか？再生が無理なら、上手に縮小することを考えるべきだと思います。
17	温水プール等、スポーツ施設が少なすぎます。清川町テニスコートの改善は、ぜひ必要です。

18	観光にもう少し力を入れて欲しい。南房総と比較して観光誘致の仕方がうまくいっていないと思う。銚子は凄く良い所がたくさんあるので、みんなに知ってほしい！！ 市の行事について市民にうまく伝わっていきなく、一部の団体でばらばらに行っていてまとまりがないと思う。
19	銚子をもっと人口が増え、活気ある町になることを願ってます。
20	道路工事等に無駄なところがあるように思う。
21	税金滞納者、未納者の強化を図り、市の財政安定に努めてほしい。 将来的に企業誘致等も検討し、人口増加も考えてほしい。 神栖市等への転出者(税優遇)防止も考えていかなくてはいけないのではないのでしょうか。 銚子市の将来に不安を感じています。是非、活性化・安定化できるよう頑張ってください。
22	銚子市の活性化を期待します。
23	このまま行けば銚子市は破たんという。無駄な事をやりすぎていると思います。道路工事など。 活気のない町になってしまった。残念 356号線道路、飲食店が少ない。土地代が高いといわれている。
24	観光事業等の見直し、検討を行い、銚子市の活性化が図れればと思います。
25	一生懸命働いている人からの税金が高く、生活保護や母子家庭の調査が徹底されていないと思います。
26	ゴミ拾い運動を行う場所は長崎海岸にして、磯遊び場所として観光客(親子連れ)の集客を提案したい。 君ヶ浜より安全で、小魚、貝などが豊富にいるのに海岸はゴミの山で本当に残念だと思う。
27	観光地なので、何かもっとないものではないでしょうか？
28	とにかく銚子市民が暮らしやすい市になるようお願いします。(障害のある人達も)
29	子どもが体を動かして遊べるアスレチックのある場所、プールを復活させて欲しいです。
30	特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設に入居するのに費用を払うお金がないお年寄りが多いので、だれでも入居できる施設をお願いします。
31	十字屋跡地の対策、水産関係のイベント強化、観光にもっと力を入れてください。若者が楽しむ施設をもっと作って。
32	小畑新町の特定市営住宅の前は、年に何回か除草作業をしているようですが、いつも通って思うのですが、これだけの広さを何かに使ったら、人が歩けば草の生える期間も少ないと思います。
33	ちゃんと税金を払っているのに子供の手当も医療費の助成も受けられません。納税の義務もしていない人ばかり優遇されるのはなぜでしょうか？中3までの医療費の助成はやり過ぎだと思います。
34	もっと住みやすい銚子になるよう願ってます。
35	会社の同僚、先輩たちは銚子市から神栖市へ移住してしまいました。10人中8人。銚子市では働く場所が少ないように思います。また、かつて繁栄していたシティオ、十字屋付近も人気がなく、いい思い出の場所といえない状態だと感じます。神栖市、旭市に負けないよう見える努力を希望します。
36	なるようにしかならない。行く所まで行くしかない。
37	市役所⇄市民センター間のバスは乗る方も少なく無駄ではないか？
38	就業先の確保など、若者の流出防止対策
39	生活保護も、もっと見直して下さい。受給されていても車を持っている人もいます。本当に生活苦の人がダメで、やれば仕事も出来るのになまけてもらっている人もいますはずです。
40	市政に対して不安なうわさが飛び交ってますので、市民にもっとわかりやすく情報を伝えてほしいです。

41	私は椎柴駅前に住む一市民です。この位置は防災放送が聞き取れない所です。駅があり、学校がある大事な場所です。1度調べに来て下さい。
42	銚子市内を走るバスが減り、お年寄りや車の運転ができない方が、すぐ出かける事ができず、不便だと言っています。小さい車でもいいので、まわってくると助かると思います。
43	社会情勢に関して、まったく無知でわかりません。
44	私たちの税金をムダのない様に使って下さい。
45	銚子市役所職員の窓口対応に不満有り(税務課) 事務的な用語で話をされてもわからない場合があります。納得できる説明をお願いします。
46	税金が大変です、支払うのが。車が運転出来ないので、バスの便をよくしてほしいです。外川はスーパーもなくなり、イオンに行きたくても月に2回のバスでは、お使いが思うように出来ません。なんとかお願いします。
47	市の税金が正しいものに使用されることを願ってます。
48	独身者に対する市民税が高いと思う。
49	子供達が伸び伸び遊べる公園が少ない様に思う。
50	市民税が高い。
51	道路がでこぼこした所やどぶのふたがない所を直してほしい。
52	イオンに行くのにみんな不便してますよ(自動車以外の人)。 屏風ヶ浦で撮影の車しか止められないのはおかしい。
53	毎日通勤で歩いて通っている浅間様の坂道がとてもきたなく思っています。雑草やゴミ、あと台風の後の小枝の散乱等です。数か月に1回とか市の方で清掃などしていただけないでしょうか？
54	夜の駅前が、明かりが少なく暗すぎ。銚電や駅前を観光するのに無料の駐車場が少なく車が止められない。財政難を理解し、無駄をなくしてほしい。
55	毎月出されているちょうし広報、新聞販売所に任せていますが、毎月の印刷の代金はきつと減らすことができると思います。1年間では大金が減らされると思います。前から思っていました。
56	どのような事業をしているかわかりませんが、市民税を払える人が払わなく、滞納している人が多いと聞いていますが、その対処をしてください。生活保護費のことですが、本当に困っている人が生活保護を受けるのは良いと思うけれど、そうでない人が生活保護費をもらい、高額な遊びや生活をしているのをよく聞きます。そういう所から改善した方が良いと思いますけど、どんなものでしょうか？一市民の意見です。
57	十字屋跡地の「銚子横丁」の今後について気になっています。
58	20代、30代の女性が安心して出産・子育てできるようにしていただきたいです。頑張ってください。
59	①無駄な出費削減 ②市内のビジネスを活性化させる企画 ③若者を県外などから市内に呼ぶ努力や企画 このような行動をしていかないと銚子市はどんどん衰退していくと思います。若い人にもっと活動してもらおうような事をしていくといいかもしれません。
60	より住みやすい銚子市になってほしいです。
61	年度末にかかわらず、道路工事はまとめてできないもののでしょうか？同じ道を何回も掘り返しているのでは？銚子の街中に若い人が見られなくなりました。婚活事業など多くないので、皆に知られていないと思います。
62	知人が救急で民間病院に診察をお願いしようとしたら、“ウチに掛かったことのない人はお断り”と拒否されたそうです。市民はどうすればよいのですか？開業医は何の為にあるのですか？

63	障害者のサービス(入浴サービス)、他の市に頼らず、本市で受けられるようにしてほしい。
64	高齢者と子供に住みやすい銚子市になってほしいです。
65	子供の医療費助成の年齢を隣接市と同じにしてほしい。
66	年に二度ほどの帰省ですが、JR銚子駅前がさみしいので、市のバックアップでもっと活力のある商店街に。観光客が電車の待ち時間などを利用して町歩きができるような…。ちょっと散歩しながら買い物をしたり…。
67	子供が遊べる公園、施設を作してほしいです。
68	未来の銚子市が明るくなることを願っています。
69	子供たちが遊べる公園が少ないため、遊ばせるために他市にある公園に行くことが増えている。安全に遊ぶことができる場所がほしい。細かい事はわかりませんが、今学校にしている子供たちが、この町に戻ってきてここで暮らしていきたいと思えるような行政改革をしていただけたらと思います。
70	支出を減らすだけでは限度があると思うので、観光に力を入れて収入を増やしてほしいです。環境の方も、利根川河川敷等の空き地を活かしてジョギングコースや桜並木、もみじ街道を作り、住みよい銚子市にし、人口の増加を図ってほしい。
71	各家庭にふるさと納税を知らせるパンフレットを配る。銚子出身の成功者等にふるさと納税を頼む。市会議員や市職員の給料や手当を下げる。市立病院を旭中央病院の出張所にする。
72	銚子までの高速道路をつくってほしいです。
73	道路をきれいに舗装したにもかかわらず、その後、水道管の整備で掘り直したり、走りやすくなった道路がボコボコになったりと、二度手間だと思います。無駄だと思うし、効率が悪いと思う。昔からやり方は変わらないのだと。ジャリ道、事故が起こりやすい場所など、道路のあり方を考えてもらいたい。歩行者の歩道、小学生の通学道の危険な場所の見直し。 銚子は波崎に比べてちょっとした癒しの花がないと思う。駅前など花をもっと増やしてほしい。観光客も降りてきて、花に彩られていたら来て良かったと思うと思いますので、小さな所にも目を向けてほしい。駅前通りにある「てうし」黒い建物の十字屋跡地の建物は、建てて活用されていないのもったいない。いろんな意見をくみ取り、活性化できるよう、市民の意見を募集するのもいいのではないかと思います。
74	子供が学童を利用しているのですが、毎月の「学童クラブ利用料」の支払いが銀行なのでしょうか。共働きで、その中には日中仕事を抜けられなく支払いに行けない人もいますので、引落としにはできないのでしょうか。私も支払方法がとても困っています。もっと市民が安心してすみやすい町にしていけないと、どんどん他の土地に引越してしまうと思います。
75	家の前がジャリ道なので水たまりができれば2週間以上乾かない。他の地区は舗装してあるので舗装してほしいです。
76	銚子の良いところは、温暖な気候と地盤が強固なこと。それを生かし、住みよい町を前面に出すべきでは。縮小ももちろん大事です。不要なところに大金を使っているところも見受けられるからです。それと同時に、人が集まる、定住するまちづくりも考える必要があるのではないのでしょうか。住みやすい、終の棲家と思えるまち。人を集めることができれば、道路の必要性(30分で高速道路に乗れる)等、次に進められるのでは。必要なことに目を向けるのも大事ではないか。
77	旧魚市場前にてサービス業を営んでいるが、解体工事の為、駐停車もできなく大変困っております。この状態が2年間も続いたらどうなるか。難しい状況になっております。皆が住みやすい町を、また、暮らしやすい、素晴らしいまちづくりの為には、観光を第一に考えてもらいたいです。誰にでも止められる大駐車場を有料でもいいから造ってもらいたいです。
78	すべての市民に良い顔をしては何も変わらないと思います。今は、誰かが悪者になり、色々と仕分けしなければダメだと思います。そして、後になって、あの判断は正しかったと言われると良いと思います。

79	十字屋の跡地に建てた建物、約2年近くが経ちましたが、どうなっているのでしょうか？建てただけで、それこそムダな費用がかかっているのでは？もっと計画を立ててから建造物を建てた方が良いと思います。また違った使い道があるのでは？
80	子供はB-2の手帳を持っています。一生、てんかんの薬を飲まなければなりません。私たちが生きている時はいいのですが、いなくなった時が心配です。子供達の未来に不安のない生活を期待します。
81	七ツ池からイオンにつながる道路が、以前修復されましたが、それにより新たに大きな水たまりができて困っています。直してください。
82	税金を福祉や介護の方に使ってほしいです。特に介護の方に…。下水道の整備を進めてほしいです。
83	観光客や学生などの若者が定着するような魅力のある街になって欲しいと思います。せっかく銚子に来ても中途半端なものしかなく、「また銚子に行こう」と思ってくれる人はいないと思います。色々イベントも開催されていますが、周辺への周知もなく携わる担当の方がかわいそうです。「どうせやるならしみじみと。」
84	街が活性化する様がんばって下さい。
85	事業仕分けも必要と思います。それと同じ位、銚子市に必要なものは漁業で日本一になっている部分もあるので、安くておいしいものを食べられる所をたくさん作って、もっと銚子市をPRして活気づかせてほしい。